東北地方・縄文晩期の土偶（７）

－青森県五月女萢（そとめやち）、川原平（かわらたい）（１）遺跡ほか、その後の多出報告遺跡－

金　子　昭　彦

東北地方・縄文時代晩期土偶のデータ・ベース化の一環として、今回は、⑹脱稿後管見にした二十点以上報告遺跡を取り上げた。青森県五月女萢、川原平⑴遺跡では二百点以上報告されている。川原平⑴遺跡は、遺跡範囲を全掘した貴重な例であり、後期末～晩期初頭の全体の分かる資料に恵まれ、漆付着土偶もある。そのほか、岩手県千苅（隣接する中村遺跡含む）、杉の堂遺跡、宮城県北小松遺跡報告土偶を表にした。

１．はじめに

前稿⑹(金子 2016a)脱稿後、青森県五所川原市五月女萢遺跡、同　西目屋村川原平⑴遺跡の報告書が刊行された。青森県で200点以上土偶を出土する晩期の遺跡が、これまで八戸市是川中居遺跡しかなかったのが、一気に二遺跡増えることになったのである。立地も含め、これまでの印象の変更を求める遺跡であることは間違いない。また、川原平⑴遺跡では、これまで類例の少なかった後期末の全体の分かる資料に恵まれ、さらに、遺跡を全掘した調査例としても貴重である。表にして資料化することが急がれた理由である。ついでに、その他の⑹脱稿後に報告された資料や遺漏分も含めて悉皆的に収集資料化するつもりだったが、今回筆者が担当する岩手県立博物館のテーマ展の準備期間に完全に重なってしまい、さらに12月に開催された（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの埋蔵文化財発掘調査技術講習会の講師を引き受け、とてもそこまで手が回らなくなり、本稿⑹脱稿後に管見にした、20点以上土偶が報告された遺跡しか扱えなかった。なお、図の出典は、カッコ内の表番号をもとに表の掲載箇所を参照願いたい。

２．表の見方

記載要綱は、⑴～⑹と同じである。大綱は⑴冒頭に記し、⑵～⑹冒頭で補足している。なお、 資料は、明らかに当該期から外れる場合は表から除外した。

形態名は、原則として金子(2003)による。部位は、完全に残っていれば◎、欠けているが半分まで残っていれば○、それ以下ならば△で示した。接合欄の記号。△は、詳細は不明だが、接合していると思われるもの。○は、すぐそばの破片が接合したのではなく、廃棄後に割れたとは考えられないもの。◎は、それが３片以上接合したもの。●は、接合によって完形に近く復元されたもの。★は、遠距離（20m以上）接合。■は、以上が複合した特筆すべき接合で、詳細は備考欄に記した。

付着物の欄。表面に塗布する赤色付着物は、痕跡的なもの（不明含む）を○、多いものを◎、全面塗布のものを●とした。漆もこの欄に記した。黒色付着物は、塗布箇所が割口か否かに注意した。“女性”とは“女性的特徴の有無”の意である。ここでは、遮光器土偶など、類例が多くよく知られている類型については、女性器の有無だけ記し（有る場合、▼と記す）、類例がほとんどないものに対してだけ、上記の特徴が認められる場合、全て記したいと思うが、縄文土偶は乳房を持つのが普通なので、特に大きいものだけ記す。乳、線（正中線の意）等と略記し、複数認められる場合は◎、三つ以上の場合は●と記し、備考欄に内容を略記する。なお、腰部に見られるパンツ状区画は、裸体表現（屈折像土偶など）や大きな乳房を持つ土偶（前葉の大型遮光器土偶など）に伴う場合がほとんどで、何らかの“女性的特徴”を表現している可能性が高いので、検討の対象に含めた（ある場合

“パ”と記す）。

掲載箇所欄で文献名を引用する際、発行機関・発行年（西暦）で示しているが、発行年は下二桁のみを記し、発行機関は、次のように略称している。〇〇県の教育委員会→県教、〇〇県の埋蔵文化財センター→県埋、〇〇市町村の教育委員会→〇〇（市町村名）、市町村名が長い場合は最初の二文字。

備考欄で類例を引用した際の数字は、本稿⑴～⑹の表番号（通しで付けている）である。

３．青森県五月女萢、川原平⑴遺跡ほか、その後の多出報告遺跡

⑴青森県五所川原市五月女萢遺跡

・五月女萢遺跡内容確認調査（第13表4583）（五所川原市教育委員会 2006）

下記の調査の前に内容確認調査が二度行われ（下記報告書第１分冊：p.3）、二度目の調査報告書（五所川原市教育委員会　2006）が岩手県立博物館にあり見ることができた。土器、石器以外では、ｘ字形土偶１点、土製勾玉（両端刻目長形）１点、有孔土製品、動物遺存体などが出土し、縄文土器の出土時期は、下記と変わらないようである。

・五月女萢遺跡（第13表4584～4781）（所川原市教育委員会 2017）

市名と報告書の図版番号が長いため、表の掲載箇所欄は略記せざるを得ず、書名（五所川原市教育委員会 2017）は割愛し、図〇・・の「図」は省略して、その後の数字のみ記した。

「遺物集中区」と呼ばれた捨て場は、六地点に分かれて確認されたため、「第１～６遺物集中区」と分け（第２、３、６遺物集中区はさらに東西に細分）出土品も別々に報告されている。本稿でも、「出土位置」欄に略記した。地点差を期待してのことであるが、大きな違いはなかったようである。ただし、大洞A1式土器の掲載が多い第４遺物集中区には、確かに大洞A1式期の土偶が多いように見える。

図Ⅲ-2-4-14の27は、文様から後期中葉と判断して割愛した。図Ⅲ-2-1-191の10（註１）、図Ⅲ-2-2-2の14（註２）は、後期後葉と判断して割愛した。図Ⅲ-2-4-17の61、62の破片は、当該期の土偶と判断しにくいので割愛した。図Ⅲ-3-1-65の１は、中期土偶の可能性が高いので割愛した。図Ⅲ-3-1-65の５、６は、後期後葉（瘤付土器第Ⅰ段階？）と思われるので割愛した。図Ⅲ-3-1-65の２～４は、小片でかつ後期の可能性が高いので割愛することにした。図Ⅲ-3-2-35の２は、後期中～後葉の可能性が高いので割愛した。図Ⅲ-3-3-10の12は、当該期とする根拠がないので割愛した。図Ⅲ-3-4-38の３は、土偶ではないと思われるので割愛した（土器の一部か装身具）。図Ⅲ-3-5-8の10、11は、後期後葉以前と思われるので割愛した。図Ⅲ-３-６-34の1は、当該期の土偶とする根拠が全くないので割愛した。図Ⅲ-4-4-1～の５、11、43、53、61～65、100も同様である。図Ⅲ-4-4-1～の12、14、18、47、51、54、96、118、119、127、133、139は、後期後葉と思われるので割愛した。図Ⅲ-4-4-1～の34、35、131、134、135は、後期後葉の腕と判断して割愛した。図Ⅲ-４-４-４の70は、袋状土器なので割愛した。

土偶は322点出土したそうだが、掲載は240点に留まっている（報告書第２分冊：p.420）。掲載品で判断する限り、土偶は、概ね下記出土土器の傾向に比例しているようである。大型遮光器系列土偶やｘ字形土偶、結髪土偶も存在するが、優品は少なく、独特のものも多い（第１図５）。第１図10の脚の屈曲の極めて弱い屈折像土偶は、北海道系であろう。第１図１は、出土状況と文様から大洞B2式期と判断される（報告書第２分冊：p.422）大型遮光器系列でない土偶である。大洞A1式期の肩パット土偶も出土している（第13表4761）。

北海道系と言えば、ｘ字形土偶のように抽象的ではあるが、胴長で、より人に近いプロポーションを持つ類（ｘ字形×小遮）も目立ち、下北半島ではあるが、同じく北海道に近い二枚橋⑵遺跡と共通

する（本稿⑸）。首に刻目隆帯のめぐる土偶が見られ（第１図14）、宇鉄遺跡出土の肩パット土偶に共通し（本稿⑸第７表3305）、これは津軽半島北部の地域性なのかもしれない。

頭頂部が突起状に突出する特徴的な黥面土偶があり（第13表4619、4633）、類例が鶴田町船沢から出土している（本稿⑵＝第２表1216）。そちらでは「刺突文？」と位置づけてしまったが、いずれにしろ頭部のみで全容は不明である。

本遺跡は、土砂採取に伴って8,200㎡調査され、その後保存目的のため1,790㎡確認調査された。縄文時代後期後葉～晩期後葉の集落跡が主として発見され、墓地（人骨７体出土）と捨て場等が検出されている。石製玉の製作ほか、ベンガラ生産や漆器製作も行われている。黄褐色粘土のマウンドを持つ墓等の成果により保存されることとなった。奈良時代の竪穴住居跡１棟、平安時代の畠跡も検出され、弥生時代中期後葉、古墳時代初頭（後北C2-D式）の土器片、中世の陶磁器片も出土している。

縄文土器は、僅かな中期前葉のほか、後期中葉（十腰内Ⅱ～Ⅲ式）、後期後葉（瘤付土器第Ⅱ段階）～晩期後葉（大洞A1式）が出土し、大洞Ｃ２式が最も多く、次いでその前後で、晩期初頭以前は比較的少ないが瘤付土器第Ⅱ段階は比較的多い。位置的に北海道系土器も各時期存在する。

土偶関連遺物は、土面16点（「浅鉢」とされた１点も追加）、人面付土器３点、人面形突起１点、岩偶２点？、岩版２点？、土版３点、動物形突起２点、動物形土製品１点出土し、大洞Ｃ２～A1式期と後期後葉～末に偏っている。晩期前葉は、土器の出土は多いのに岩版に代表される関連遺物は少ない。

石剣類は129点出土したそうだが、石棒・石刀が多く、いわゆる石剣は少ないそうである（報告書第２分冊：p.313）。石冠９点、土冠２点出土した。内面渦状土製品が３点出土し、全て椀形で晩期前半の可能性が高い（金子 2011b）。

土製耳飾は58点出土し、掲載品を見る限り、土器、土偶、土面の出土が多い大洞Ｃ２～A1式期でほとんどを占めるはずのC2ネジ形（金子 2009a）が非常に少ない。大型のクラゲ状や鼓状、蓋状に代表される極小の片端大系列が多く、土製耳飾に関しては晩期前半が主体を占めていると考える（金子 2009a）。弧状土製品は２点出土し、報告書第２分冊図Ⅲ-3-2-33の１は第二段階（大洞BC1～2式期）、同図Ⅲ-4-3-8の97は第四段階（大洞Ｃ２式前半期）か（金子 2009b）。菱形環状土製品は２点出土し（報告書第２分冊図Ⅲ-4-3-10の118、121）、両方とも第Ⅰａ段階か（金子 2010c）。ボタン状石製品１点（報告書第２分冊図Ⅲ-3-1-62の17）は、第Ⅲｂ段階で大洞Ｃ２式古期か（金子 2010b）。その他、玉象嵌土製品、菱形環状土製品類似品（報告書第２分冊図Ⅲ-4-3-10の120）や鍔形土製品類似品（報告書第２分冊図Ⅲ-4-3-10の111～113）（金子 2011b）、環状や貫通孔を持ち装身具と考えられる出土品が多数ある。

玉類の出土も多く、土製玉類は385点出土し（丸玉187、管玉62、勾玉51）（報告書第２分冊：p.326）、大洞Ｃ２～A1式期に特徴的な瓢箪小玉（金子 2006）も51点掲載されている。同じ頃の可能性が高い両端刻目長形土製勾玉（金子 2016c：p.238）も20点ほど掲載され、二点掲載されている三角玉（報告書第２分冊図Ⅲ-4-6-5の84、85）は、弧型で大洞Ｃ１～２式古期か（金子 2011b）。その他の類型も含め土製玉類が多いこと自体が、大洞Ｃ２～A1式期の出土品が多いことを示唆する可能性が高い。石製玉類は784点出土しており（丸玉759、管玉21、勾玉４）（報告書第２分冊：p.332）、未成品を加えると6,392点に及び、遺跡内で緑色凝灰岩製丸玉を中心に製作が行われていたが、ヒスイ製品も多い（100点以上）（報告書第２分冊：p.540）。

その他、漆櫛１点、サメ歯（アオザメ）８点、貝輪や骨角製装身具などが出土している。

集落は、大洞A1式期の出土遺物が比較的多いのにも関わらず、ここで突然途絶しており、「大洞Ａ´

式の良好な遺物包含層が検出された内陸部にある岩井・大沼遺跡（本稿(2)第5表601－引用者註）へ集落が移動した可能性」（報告書第１分冊：p.2）は十分首肯できる。

・五月女萢遺跡５次調査（第13表4782～4787）（五所川原市教育委員会 2021）

本書も、図番号が長いので、掲載欄の書名は発行年のみとし「21」と略記した。

土砂採取事業に伴って約756㎡調査され、調査範囲は上述の調査区の東側に直交する方向に延びるが、調査区は飛び飛びに三地点に分かれる。

表4782～4784は、そのうちの1区（126㎡）から出土した。１区からは、縄文時代晩期後葉を中心にした集落跡が検出され、掲載土器は、大洞A1式（津軽系）を主体とし、後期中葉、晩期前葉、大洞Ａ２～Ａ´式古期土器も見られる。報告書図Ⅲ-２-13の２、３は、後期後葉土偶の脚と思われるので割愛した。

4785～4787は、３区（457㎡）から出土した。３区からは、縄文時代後期後葉～晩期（中葉の墓）、古代の集落跡が検出された。掲載土器は、やはり大洞A1式（津軽系）が多いが、後期中葉、後期後葉から晩期後葉（大洞A2式）まで多時期に亘る。報告書図Ⅲ-2-64の４、５は、後期後葉土偶の腕、脚と思われるので、６は土偶とする根拠が弱いので割愛した。

⑵青森県西目屋村川原平⑴遺跡

津軽ダムの建設に伴って、後期末～晩期の拠点集落跡15,790㎡が全面調査された。後期末～晩期前葉の人面付土器が特徴的である。なお、試掘調査で出土した土偶は、本稿⑹で取り上げている。

・川原平⑴遺跡遺跡南端（第13表4788～4817）（青森県教育委員会 2016a）

遺跡南端に相当するＣ区の平成23、25年度（一部）調査区の報告で、捨て場を主体とするが、土器埋設遺構や石棺墓なども検出された。僅かに、縄文時代前期末、中期後葉、後期前葉（十腰内Ⅰ式）、後葉（十腰内Ⅳ式）、弥生土器？、土師器も出土しているが、ほとんどが縄文時代後期末（瘤付土器第Ⅲ段階）～晩期後葉（大洞A1式）の土器である。後期末～大洞B1式が多数を占め、次いで大洞Ｃ１式で、それ以外の時期は少なく、特に大洞BC2式がほとんどないことは特筆すべき点である。こうした消長は、一般的な晩期の拠点集落と逆で（金子 2017：p.330）、山間にあるという立地の特殊性に起因するものであろうか。

土偶は39点掲載され、時期は出土土器の傾向にほぼ合致する。人面付土器が多く、６点以上出土している。なお、表の人面付土器の残存率は、土器全体のものである。岩版約６点（以上）、石剣類約43点、円盤状石製品64点掲載されている。出土時期の傾向から、やはり土製耳飾の出土は多く、34点掲載され、無文環状のものが多いが、報告書遺物図191-10は、ネジ前系列である（金子 2010d：p.135、2009a）。報告書遺物図204-5は、石製耳飾（耳栓）であろう。土製花弁丸玉は５点掲載され、やはりⅡａ～ｂ段階がほとんどだが（瘤付土器第Ⅲ～Ⅳ段階）遺物図195-9は、第Ⅲ段階（大洞B2～Ｃ１式期）の可能性がある（金子 2011c）。第三段階（大洞Ｃ１式期）の弧状土製品（金子 2009b）１点、イモガイ殻頂部様の装身具１点掲載され、その他、赤色小型土製玉が８点（勾玉２、丸玉６）、小型石製丸玉類７点（ヒスイ２点）、その他の石製装身具類数点、木製櫛３点などが掲載され、コハクの出土が報告されている。

遺物図版184の５、６は、「土偶の部品」とされているが、実感が持てなかったので割愛した。遺物図版188の１、４、６、７、８、９～11も同様で、当該期の土偶の部位という確証が持てなかったので割愛した。第13表4801～4805の「一部は図184-1（本表4800）と同一個体と思われる」とされている（報告書：p.159）。

・川原平⑴遺跡北西隅（平成25年度調査区）（第13表4818～4823）（青森県教育委員会 2016b）

平成25年度調査区（遺跡のある台地の北西隅）の報告で、縄文時代中期後半の集落跡のほか、当該期では、後期末～晩期前半の墓域、晩期後半の盛土遺構が検出されている。これまでと同様、縄文時代後期末（瘤付土器第Ⅲ段階）～晩期後葉（大洞A1式）の土器が掲載されているが、大洞A1式が最も多く、後期末～晩期初頭、大洞Ｃ１式は少なく、大洞BC2式、Ｃ２式は比較的多いといえようか。聖山式が出土している。出土量も比較的少ないせいか、土・石製品の出土も少ない。

６点出土した土偶は、３点以上が大洞A1式期であり、表4823は、「刺突文土偶」とされているが結髪土偶である。大洞BC2式期の大型遮光器土偶の破片が点在して出土している。岩版１点（大洞A1式期）、正中線中空土版１点（瘤付土器第Ⅳ段階）、石剣類10点、円盤状石製品53点が出土した。土製花弁丸玉１点は、第Ⅲ段階か（金子 2011c）。石製玉は、配石土坑墓を中心に37点、土製丸玉が１点出土している。

図129の３は、土偶に見えないので（瘤付土器の破片？）割愛した。

・川原平⑴遺跡平場地区・クラック地区（第13表4824～4832）（青森県教育委員会 2017a）

平成25～27年度調査区のうち遺跡の中央に相当する平場地区・クラック地区の報告である（4,258㎡）。平場地区では、後期末～晩期後葉の建物跡や盛土遺構が検出された。クラック地区は、平場地区の北側に隣接し、溝状の落ち込み部分に後期後葉～晩期前葉の捨て場が形成されている。一連の報告は、出土地点・層位別に遺物を掲載し、原典である報告書としては一つの見識だとは思うが、読みづらく探しづらいことは否めない。特に本書の場合は、遺物の種類ごとのまとめがないため、例えば円盤状石製品が何点出土したかわからないのである（表から数え上げるしかない）。異種類の遺物のセット関係が見通せていない現状では、たとえ良好な層位的出土資料であっても、まず遺物の種類ごと（土器、土製品など）に分けてから地点・層位別に並べた方が利用しやすいと考える。

掲載土器は、これまで同様後期末～晩期後葉だが、後期後葉まで遡りそうな瘤が多く貼付される土器が見える（報告書：図211の写真図版147-13）。ただし、報告書の図や写真では文様が良く見えず、中門亮太氏の編年では、５期相当資料に瘤が比較的多用される資料も含まれており、若干の懸念も残る（中門 2013：第15図１）。平場地区は、小片が主体のため不明瞭だが、大洞A1式がほとんどで、後期末～晩期初頭も非常に少ない。これに対し、クラック地区は、後期末～晩期初頭がほとんどを占め、大洞B2式も見られるが、それ以外は非常に少なく、中期後半土器も僅かに出土している。

土偶は、８点掲載され、出土土器と同じく、後期末と晩期後葉が主体を占める。報告書図157-2は、天地逆に掲載されているが、結髪土偶の胴部であろう。人面付土器は約５点、岩版は７点以上で晩期後葉が主体を占める。以下、数え間違いがあると思われるので不正確だが、石剣類約15点、円盤状石製品約174点、独鈷石３点（「青竜刀形石器」とされる写真105-7含む）、図147-1は、石冠であろうか。これを含めて石冠は２点か（図146-3）。クラック地点では、時期によるものか、土製耳飾が９点出土し、石製丸玉も２点掲載されている。

・川原平⑴遺跡東捨て場・北東捨て場（第13表4833～4869）（青森県教育委員会 2017b）

遺跡の東端に存在する、東捨て場、北東捨て場地区の報告である。報告書の写真が暗くて文様等を確認できないのが残念である。なお、写真のみ掲載の資料は、本稿の方針により割愛している。図97－13は、土偶ではなく弧状土製品（金子 2009b）なので割愛した。

掲載土器は比較的少ないが、これまでと同様、縄文時代後期末（瘤付土器第Ⅲ段階）～晩期後葉（大洞A1式）の土器が見られ、大洞Ｃ１式、次いで後期末～晩期初頭が比較的多い。本報告書も出土点数が記されておらず、また写真掲載が基本のため、以下数え間違いが多いと思われる。41点？掲載された土偶は、土器の傾向をある程度は反映しているが、大洞Ｃ２式期が意外に多いようである。

人面付土器２点以上、岩版20点以上（礫石器と区別しがたいものがある）、石剣類27点、円盤状石製品多数（数百点）掲載されている。その他、約７点掲載された土製耳飾は、後期末～晩期初頭が主体だが、晩期中～後葉の蓋状系列（金子 2009a）も出土している（報告書：図98-15）。その他、「ケムシ形土製品」とされた第三段階？の弧状土製品（金子 2009b）の欠損品が１点（報告書：図97-13）、第Ⅲ段階（大洞B2～Ｃ１式期）（金子 2011c）の土製花弁丸玉１点（報告書：図97-8）、土製勾玉？１点、石製勾玉２点、第Ⅲａ段階（大洞Ｃ１式期）？のボタン状石製品１点（報告書：図49-12）などが掲載され、漆塗櫛などが出土している。

以下、上記点数に含めなかった関連遺物。図28の写36-3の突起は、片面人面、片面獣面とあるが、理解できないので割愛した。写129-8の動物突起は、図がなく詳細不明で、また晩期ではないので割愛することにした。図34-39は土版とされているが、理解できないので割愛した。写62-4の岩版は、比較的残りの良い正中線を持つ３類のようである（赤色付着物）。報告書で「線刻礫」とされたものの多くは、線刻というより擦痕であり砥石などと考えられ、割愛した。

・川原平⑴遺跡北捨て場（第13表4870～4908）（青森県教育委員会 2017c）

遺跡北端にある北捨場地区の報告である。掲載土器は、これまでとほぼ同じで、僅かな中期後葉があり、大洞BC2式が少なく、大洞Ｃ２式も少ないが、それ以外の後期末～晩期後葉は、ほぼ同じくらい出土している印象を受ける（報告書：p.34）。今回は、明確に後期後葉土器が出土している（報告書：写真108-12）。「土偶は36点が出土した」とあるが（報告書：p.51）、それ以上掲載されている。掲載土器の傾向を概ね反映している。岩版は４点以上出土している。石剣類は約38点、石冠１点、土冠１点（施文されているが、不鮮明で時期不明）掲載されている。11点出土した土製耳飾は、やはり後期末～晩期前葉が主体だが、それ以降のものも出土している（報告書：図27-45、47、50）（金子 2009a）。報告書図27-58の土製装身具は、おそらく猪牙製の組み合わせ型腕輪（金子 2016c：第３図10、11）を模倣したものと推測され、興味深い。その他、スプーン状土製品１点、円盤状石製品600点以上出土しているようである。なお、完形および接合による完形に復された石剣類について紹介されている（報告書：p.116）。

・川原平⑴遺跡西捨て場（第13表4909～5071）（青森県教育委員会 2017d）

遺跡の西端に位置する西捨場の報告である。段丘崖に位置し、下部は湧水を伴い、有機質遺物も多量に出土し、そのせいか赤色顔料の残存も良いようである。掲載土器は、これまでと同様、僅かな中期（報告書：p.237）、後期後葉のほかは、後期末～晩期後葉だが、大洞B2～Ｃ１式が多く、大洞A1式は少ない。

川原平⑴遺跡の場合は、土器の出土傾向から、五月女萢遺跡と異なり、掲載資料は、明らかに該当しない資料以外、できるだけ割愛しない方針だが、図80の49は、色調も当該期の土偶と異なり赤褐色で土偶にも見えないため、割愛した。図93の210、図95の234も、観察表では土偶に分類されているが、とても土偶とは思えないので割愛した。

157点出土した土偶（「亀形土偶」除く）は、土器の出土傾向を反映し、遮光器土偶が多い。第５図６と７は、非常によく似ている。背中の文様は異なるが、正面の装飾が酷似していることから時期が異なるとは考えにくい。出土例の少ない大洞C1式新期以降の小型遮光器土偶である。

土面１点、人面土器１点、正中線中空土版１点？、美々４型中空動物形土製品１点？　33点以上掲載された岩版は、土器の出土傾向と異なり５類も比較的多い。石剣類約35点、石冠２点？、独鈷石２点？掲載され、円盤状石製品は約4,000点出土しているそうである（報告書：p.151）。

土製耳飾りは、約30点出土し、後期末～晩期後葉まで満遍なくある。花弁丸玉は、７点掲載され

（報告書：図93-196、199、201、204～207）、第Ⅱ～Ⅲ段階に相当し（金子 2011c）、土器の出土傾向に合致する。弧型（大洞Ｃ１～Ｃ２式古期）の三角玉（金子 2011b）１点も掲載されている（報告書：図94-221）。陰刻2b類（大洞Ｃ１式新期）の鍔形土製品（金子 2011b）が１点掲載され、鍔形製品は、漆製品（報告書：写279-5）、鹿角製品（図186-11、12）も出土している。土製品の編年が当てはまるか不明だが、漆製品は張り出し形突起類（大洞BC1式期）、鹿角製品は、張り出し形突起類（大洞BC1式期）と中間類（大洞BC2式古期）の可能性がある。長菱形（大洞B2～Ｃ１式期）の菱形環状石製品（金子 2010c）１点（報告書：図145-18）、Ⅱａ段階（大洞BC1式期）とⅢａ段階（大洞Ｃ１式期）のボタン状石製品（金子 2010b）が掲載されている（報告書：図146-11、15）。石製玉は多く、30点以上掲載され、孔の開けられた装身具と推測される石製品も多い。その他、漆耳飾２点、漆櫛38点、漆腕輪38点出土し、骨角牙製の装身具も数点掲載されている。

以下、上記点数に含めなかった関連遺物。図132-4の岩版？、図135-2は、図ではよくわからず、写真もないようなので割愛した。図135-4～6、図136-9、図137-1、図142-6は、磨石等の礫石器との違いが不明瞭なので、図136-11は垂飾品の未成品と考えて、割愛した。図138-11も同様で、厚さも不均質で磨石等の礫石器との違いが不明瞭なので割愛した。図138-2は、写真も観察表もなく、不整方形で岩版らしくないので割愛した。図138-6は、激しい擦痕が認められるが、不整形で部厚いので割愛した。図139-4は、擦痕のみの破片のため割愛した。図138-9、図140-7、8、11～13は、「岩版？」としたものとほとんど違いはないが、岩版にしては小さく（概ね５㎝以下）、装身具の未成品の可能性も高いので割愛した。図141以降の該当例についても同様である。図143-4は、５㎝以上あるが、円形で厚く岩版とするのには違和感があるので割愛した。「写真257の人の身体、横顔、足、二枚貝などを模したもの」（報告書：p.151）は、写真を見る限り、「そのようにも見える」域を超えないので割愛した。図94-223、224は、「土版」とされているが理解できないので割愛した。図95-230～234は、「亀形土偶」（土製品）とされているが、細片のため、図と写真ではよくわからず割愛した。

・川原平⑷遺跡（第13表5072～5074）（青森県教育委員会 2016）

川原平⑴遺跡の東側に隣接するＢ地区の報告で、この地区は、遺跡内の他の地区より高所の川原平⑴遺跡と同じ段丘面に位置し、便宜的に別の遺跡とされてはいるが（間に沢があるため？）、報告者も述べるとおり（p.195）、川原平⑴遺跡の続きであることは明白なので、本稿で扱った。縄文時代晩期の土坑墓群と土器埋設遺構群が注目されるが、縄文時代中期の集落跡も検出された。

掲載土器は、後期末は川原平⑴遺跡とあまり変わらないが、大洞B1～Ｃ２式が少なく、大洞A1式が多く、これまで見られなかった、大洞A2式～Ａ´新式がある。土偶３点、岩版２点以上、石剣類16点、独鈷石３点、円盤状石製品266点出土している。167点出土した石製玉のうち、155点が土坑から出土しており、そのうち29点がヒスイ製である。

⑶その他の遺跡

上記二遺跡以外で、本稿(6)脱稿後に報告された遺跡のうち管見にした、20点以上土偶が報告されている三遺跡とその関連遺跡（中村）のみを表入力した。

・岩手県北上市中村遺跡（第13表5075～5077）（（公財）岩手県文化振興事業団 2017）

下記、千苅遺跡と同じ自然堤防の北側に隣接し（間に小さな沢？　現在は市道で区切られている）、同じ築堤事業により21,870㎡調査された。遺跡自体は、奈良～平安時代の集落跡（住居136）を主体とするが、他の時期でも、南側には、隣接する千苅遺跡からの続きが見られる。遺構は検出されなかったが、縄文時代中期後葉、後期前～中葉、晩期前葉？、晩期後葉～弥生時代中期の遺物が出土している。当該期掲載土器は、それほど多くないが、大洞A1～青木畑式がほとんどを占め、それ

以前（大洞C1式？）、それ以降は僅かである。

・**岩手県北上市千刈遺跡**（第13表5078～5113）（（公財）岩手県文化振興事業団 2016）

遺物図版131のｄ32、33は、後期後半の土偶と判断して割愛した。

堤防建設により27,368㎡調査され、縄文時代中期後半の集落跡（住居２）、晩期後葉～弥生時代中期の集落跡（住居４、土坑墓７）、奈良～平安時代の集落跡（住居89）、中世の居館跡などが検出された。縄文時代後期前～後葉、晩期前半の土器も、散発的に出土している。

当該期土器は、大洞A1～青木畑式がほとんどを占め、谷起島式は少なく、弥生時代中期中～後葉はさらに少なく、大洞B1、2、Ｃ１～２式は非常に少ない。

関連遺物は、動物形土製品１点、土版４点である。動物形土製品は縄文時代後期の可能性も残すが、出土土器の偏りから当該期に帰属する可能性が高い。その他、動物（クマ）形突起の可能性のあるものが３点出土しているが（報告書d51、52、56）、定かではない。

石剣類は42点出土したとされるが、図が掲載された19点を見る限り未成品や？のつくものばかりで、典型例は僅かである。長い独鈷石１点が出土している。

その他、土製耳栓２点は角張っており、大洞A1式期のＣ２ネジ形系列と思われる（金子 2009a、2010d）。土製玉類は２点で、１点（報告書d45）が第Ⅳ段階（大洞Ｃ２～A1式期）の花弁丸玉（金子 2011c）、１点（同d46）が同時期と思われる瓢箪小玉である（金子 2006：p.29）。石製玉類10点は、弥生時代前期を中心にした時期とされ（報告書：p.413）、碧玉製管玉２点、勾玉２点、平玉６点で、滑石製が多い。その他、スプーン状土製品が３点、土製紡錘車１点出土しており、石器類では、石鏃と磨製石斧の未成品および加工具が多い。

・**岩手県奥州市杉の堂遺跡**（第13表5114～5137）（（公財）岩手県文化振興事業団 2020）

岩手県では古くから著名な晩期の遺跡だが、実測図を伴って報告されたことがほとんどなく、本稿でも、これまで表に出来なかった。

国道拡幅により1,160㎡調査し、縄文時代晩期、古代の集落跡が主として検出されたが、縄文時代早期、中期、弥生土器も出土している。

当該期土器は、大洞B2～BC2式、Ｃ２～A1式が多く、大洞Ｃ１、A2～Ａ´式古期は比較的少ないが、大洞Ａ´式新期～弥生時代中期中葉土器も出土している。

土偶は25点出土したが、第123図d18は、大洞Ａ´式土器の脚であるため割愛した。

土版６？点、石剣類42点、石冠２？点、独鈷石１点、円盤状石製品83点出土している。土坑から舟形土製品（ミニチュア土器？）が１点出土した。

・**宮城県旧田尻町北小松遺跡**（第13表5138～5172）（宮城県教育委員会 2021）

複雑に開析された低丘陵とそれに取り囲まれた沖積地からなり、丘陵裾を中心に遺構、遺物が発見されている。調査は圃場整備に伴い、水路、農道予定地を主体としているため、トレンチ状の調査区が長く続く形になっている。調査は継続して行われ、ここで取り上げる報告は平成22年度のもので、それ以前の報告分に関しては、本稿⑹第９表に示し、晩期後半を中心にした土偶が45点ある。なお、「土偶とその情報」研究会の宮城大会シンポジウム集成資料（1996）には、同じく晩期後半を中心にした土偶が４点掲載されている（本稿⑵）。

この調査では、晩期中葉から弥生時代前期にかけての集落跡が主として検出された。出土土器は、縄文時代早期中葉以後多時期にわたるが、後期後葉～晩期末が主で、中でも大洞A1～2式が最も多く、次いで大洞C2式である。

土偶は、掲載土器の割合に比して後期と思われるものが多い。報告書第244図１は、当該期の土偶

ではないので割愛した。動物形の付いた大洞A1式土器が注目される（第125図１）。

４．小括

東北地方の当該期の土偶多出遺跡は、大洞Ｃ２～A1式期に多く（金子 2017）、今回取り上げた遺跡にも当てはまる。東北北部太平洋側では、これに加え大洞BC2式期にも多出遺跡がある（金子 2017）。今回取り上げた五月女萢、川原平⑴遺跡は、いずれも日本海側で、やはり当てはまらないが、土器自体も岩手県などと比べて出土量があまり多くないことに気づいた。その意味するところについては今後の検討が必要だが、いずれにしろ繁栄期に土偶が多いことは確実であろう。

遺跡全体を調査した川原平⑴遺跡については、今後さまざまな検討を加えていく価値があるが、地点ごとの動向を見ても、やはり土器の出土量の多い時期の土偶が多いことは確かである。そうした点で、これまで不明だった後期末～晩期初頭の土偶様相が明らかになることがまず期待される。

次の晩期前～中葉は、やはり遮光器土偶が主体となるが、太平洋側に比べ劣品が多いのが気になる。第４図２などは、大型にも関わらず、かなり出来が悪く、まるで関東・中部地方の遮光器系土偶のようで（金子 2020）、加えて、どういう意味なのか、額に仮面を被るかのような獣面が見られる。これに比べれば第４図１は、かなりよい出来だが、それでも何となく違和感を持ち、それは製作技法に如実に現れている。大型遮光器土偶であるにも関わらず、獣面例と同じく、全身中空ではなく腕が中空になっていないのである。

次の晩期中～後葉は、より顕著に地域性が現れ、それは、より北海道に近い五月女萢遺跡に顕著である。ｘ字形土偶に似て抽象的だが、より“ひとがた”に近い類型（表では、ｘ字形×小型遮光器土偶を略記）がその代表である。

そのほか、川原平⑴遺跡では、表面に漆付着とされる例が注目される（第５図６、７ほか）。

千苅遺跡も、岩手県にも関わらず劣品が目立つ。優品ばかりの九年橋遺跡から北北東に約４㎞しか離れていないにも関わらずである。確かに時期は九年橋遺跡より後が主体だが、大洞A1式期は重なる。通常の優品は第13表5101くらいしか見当たらず、中には大型なのに板状ものもある（第６図６）。こうした特徴は、岩手県でも最南部の旧大東町大洞地、水無遺跡に類似するが（本稿(6)第12表）、なぜそれほど南でもない千苅遺跡にそうした特徴が見られるのか分からない。ちなみに、大洞地、水無遺跡の様相は、今回取り上げた北小松遺跡にも共通するもので、東北地方の中で一般的に南に行くほど劣品の割合が多くなる。なお、青森県南部～岩手県北部を中心に、北に向かっても同様である。

杉の堂遺跡で興味深い大型遮光器土偶が見られた（第６図８）。脇の下の胴部に文様が施されておらず単純に磨かれているのである。同様の例は、岩手県岩手町高梨遺跡例にも見られる（第６図９）。うっかり、施文する前に腕を胴部に接続してしまったために、こうした取り扱いをするのだろうか。金子（2018）では、使用方法に関係し「ここを磨いて面とすることで、何かに据え付けやすくする」（p.38）のではないかと解釈してみたが、そのまま据え付ければよく、あえて磨く必要性は薄いであろう。

註

⑴類例として、岩手県上鷹生遺跡例が挙げられ(㈶岩手県文化振興事業団 1997：第193図2099)、上鷹例の場合は尻上の文様から後期後葉瘤付土器第Ⅰ段階の可能性がある（金子 2016b：p.2）。

⑵図では平板に見え、文様意匠からｘ字形土偶への近似を看取してしまうが、写真を見るともっと立体的で、上述の岩手県上鷹生遺跡例（㈶岩手県文化振興事業団 1997：第193図2099）に近く、立体的で丸い乳房、臍の貼付も、後期後葉の方に近い。胴部の文様意匠は、この時期それほど一般的ではないが、似たものがないわけでもない（金子 2016b：第４図６）。

⑶屈折像Ｂ類土偶のうち、岩手県宇登遺跡例のような腕脚に文様が限定される段階に比定されるものと思われる（金子 2021）。本例は立像姿態である可能性が高いが、「屈折像Ｂ類」には元々立像姿態も併存し、このことは「屈折像Ｂ類」が後に立像が主体の結髪土偶に変化することからも裏づけられる。

⑷円く貼付された乳房からやや離れた上方に隆帯が斜行しており（第１図12）、これは、一般的な結髪土偶の乳房表現（胸の隆帯）が重複して施されたのか、あるいは頭部の装飾なのだろうか。

⑸総括報告書（青森県教育委員会 2017e）の「遺物接合関係」を見ると（図18）、60m以上の遠距離接合のようだが、それが同一個体と見なした破片同士なのか実際に接合しているのか読み取れない。

⑹共伴土器から後期末葉と推測されている（報告書第１分冊：p.186）。

⑺左腕の破損部に黒色付着物（「アスファルトであろうか」）。

⑻土坑覆土上層中心に一帯で破片が出土し、報告書に詳しい記載がある（p.148、302）。

⑼「表裏面に漆を塗布」（報告書：p.139）。肩から背中にかけて続く平行沈線。背中中央円形沈線。乳房円形貼付。

⑽正中線I字状沈線、▼（女性器）磨消縄文で魚眼状文状に三叉文を配し間に縦沈線を挟むものだが、同じ文様が背面にも見られ女性器ではないかもしれない。口横三叉文。乳房が隆帯状であることや、後頭部突起頂部に刻目列が施されることもあり、全体の印象がミミズク土偶にやや似る。本稿第３図１。

⑾宮城県田柄貝塚に類例がある。宮城県教育委員会(1986)の第５図15＝金子（2016b）の第５図４。

⑿「４グリッドにまたがってバラバラの状態で出土」「膝頭の上部が欠損しているため、腕部が付着していたと考えられ」る（報告書：p.96）。一つのグリッドは隣接しない。背中に入組文、隙間に三叉文。焼成良好。丸顔。後頭部結髪。縄文。被熱痕あり。

⒀「欠損部３箇所にアスファルト」と観察表にあるが、図には首しか示されていないようである。

⒁三つの出土地点の破片が接合し、一つ隣接していないグリッドがある。

⒂「脚部のみで閉塞された中空の作り」（報告書第２分冊：p.401）で、部位を接続する際、大型遮光器土偶のようには中空部分を連続させようとしなかったことがわかる。

参考文献

青森県教育委員会　2016a『川原平⑴遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第564集

2016b『川原平⑴遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第565集

2016　『川原平⑷遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集

2017a『川原平⑴遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第576集

2017b『川原平⑴遺跡Ⅴ』青森県埋蔵文化財調査報告書第577集

2017c『川原平⑴遺跡Ⅵ』青森県埋蔵文化財調査報告書第578集

2017d『川原平⑴遺跡Ⅶ』青森県埋蔵文化財調査報告書第579集

2017e『川原平⑴遺跡Ⅷ』青森県埋蔵文化財調査報告書第580集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1997『上鷹生遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第253集

（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2016『千苅遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第652集

2017『中村遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第671集

2020『杉の堂遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第716集

金子昭彦　2003「土偶はどれだけ壊れているか」『日本考古学』第15号　日本考古学会

金子昭彦　2004「結髪土偶と刺突文土偶の編年」『古代』第114号　早稲田大学考古学会

金子昭彦　2006「東北地方北部における縄文晩期の『装飾品』（１）」『紀要』ＸＸＶ　㈶岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

金子昭彦　2009a「縄文晩期・東北北部の土製耳飾」『縄文時代』第20号　縄文時代文化研究会

金子昭彦　2009b「東北地方・縄文晩期における弧状土製品」『物質文化』87号　物質文化研究会

金子昭彦　2010a「東北地方・縄文晩期の土偶⑴」『紀要』ＸＸⅨ　㈶岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

金子昭彦　2010b「北日本・縄文晩期のボタン状製品」『岩手考古学』第 21 号　岩手考古学会

金子昭彦　2010c「東北北部・縄文晩期の菱形環状製品」『青森県考古学』第 18 号　青森県考古学会

第13表　多出遺跡補遺(1)（※註の内容は本文註の後に）

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部位						残存率	現長	接合	付着物		つくり	女性	出土位置	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚		cm		赤	黒	（製作痕）			立地	評価		
4583	青	五月女萢	*x* 字形	C2 ？			△	◎		◎	1/3	5				小型板状			砂丘	拠点	五所 06 →９図６	臍？円形貼付。無文？　足突起陰刻　無
4584	青	五月女萢	小遮？	C1 古？					○		小片	2						墓坑	砂丘	拠点	Ⅲ -2-1-99-16	B 突起状。裁痕列
4585	青	五月女萢	大遮？	BC2 ？						△	小片	2.8				中空		墓坑	砂丘	拠点	Ⅲ -2-1-205-40	
4586	青	五月女萢	大遮	C1 古				△		△	小片	5.5	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-1	摩滅。部位境裁痕列。磨消縄文
4587	青	五月女萢	大遮	C1 古		△			○		1/10	9	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-2	摩滅。部位境裁痕列。磨消縄文
4588	青	五月女萢	大遮	BC2			△	△			小片	8.5	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-3	摩滅。部位境裁痕列。腰に文様帯(ノ字文)
4589	青	五月女萢	大遮	BC2				△			小片	5.8				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-4	摩滅。部位境裁痕列。腰に文様帯(ノ字文)
4590	青	五月女萢	大遮	C1 古		△	△				小片	7.4				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-5	摩滅。部位境裁痕列。磨消縄文
4591	青	五月女萢	大遮	BC2 ？				△			細片	3.8				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-6	摩滅。裁痕列
4592	青	五月女萢	大遮	BC2			△	△			小片	7.4	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-7	摩滅。部位境裁痕列
4593	青	五月女萢	大遮	C1 古 ??						△	小片	4				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-8	
4594	青	五月女萢	？	後後？						△	小片	8	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-9	摩滅。異形土器？　多重円文？　足無？
4595	青	五月女萢	大遮	～ C1 古		△					細片	3.8				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-10	摩滅。隆帯上に刺突列
4596	青	五月女萢	大遮	BC2					△		小片	4.4				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-11	摩滅。部位境裁痕列
4597	青	五月女萢	大遮	BC2 ？			△				細片	5.2	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-12-12	摩滅。貫通孔。裁痕列。刺突。磨消縄文
4598	青	五月女萢	大遮	BC2 ？	△						小片	9	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-13	摩滅。頭頂部に B 突起
4599	青	五月女萢	大遮	BC2 ？	△						小片	5.5	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-14	摩滅。後頭部剥落。裁痕列
4600	青	五月女萢	大遮？	BC ？				？			細片	2.4				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-15	摩滅。ノ字文？
4601	青	五月女萢	大遮	BC ？				？			小片	5	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-16	摩滅。磨消縄文
4602	青	五月女萢	大遮	C1 古？		△					細片	３？	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-17	摩滅。肩。隆帯上刺突列。磨消縄文
4603	青	五月女萢	大遮	BC2 ？						△	小片	4				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-18	
4604	青	五月女萢	大遮	～ C1 古						△	細片	3.5				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-19	摩滅
4605	青	五月女萢	大遮	BC2 ？		△			△		小片	7.5	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-13-20	摩滅。隆帯上に刺突列。磨消縄文
4606	青	五月女萢	*x* 字形	C2 中？			◎	○		○	2/5	3.8	△			小型板状		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-21	足に陰刻無。正中線（沈線）系列？
4607	青	五月女萢	*x* 字×小遮	C2 Ⅱ？	◎	○	◎	◎	◎	◎	略完	11.7	△		割口	小型板状		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-22	右乳房アスファルト。正中線雲形文
4608	青	五月女萢	*x* 字形	C2 中？	◎	◎	◎	○	◎		4/5	8.8			割口	小型板状		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-23	右脚にアスファルト。無文。正中線系列？
4609	青	五月女萢	*x* 字×小遮	C2 Ⅲ？	◎	○			△		3/10	5.7	△			小型板状		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-24	眼沈線。正中線刺痕列。雲形文？
4610	青	五月女萢	*x* 字×小遮	C2 Ⅱ？		△	○	○			1/5	6.6	△			小型板状？		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-25	摩滅。片面剥落。雲形文
4611	青	五月女萢	結髪	A1		◎	◎	○			3/10	8				股刺突		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-26	乳～肩隆帯上工字系三叉文。パンツ縄文
4612	青	五月女萢	結髪	A1		○	◎	△			1/5	6.7	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-28	乳房丸。胸に逆三角沈線文。肩沈線
4613	青	五月女萢	*x* 字形	C2 中？		◎	◎	◎	○		5/6	6.2	△			小型板状		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-29	縁取文系列（多重線）。正中刺痕列
4614	青	五月女萢	結髪？	A2 ？				△			小片	4.8						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-30	二重弧線？　刺突充填
4615	青	五月女萢	大遮系統	A1	○	△			○		1/5	6.8	△		割口	中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-31	摩滅。頭頂と胴にアスファルト。口三叉文
4616	青	五月女萢	大遮系統	A1		△			○		1/10	5				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-32	肩に工字文。指先刻目列
4617	青	五月女萢	大遮系統？	A1		△					小片	2.4						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-33	工字文・刺突多。乳房？
4618	青	五月女萢	大遮系統？	C2 中？	○						小片	5.3						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-35	目刺痕列。三口状
4619	青	五月女萢	後期以来	B1 ？	○						1/8?	5.4				深い刺突		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-36	頭頂と耳に刺突。黥面。弧状眉刻目列
4620	青	五月女萢	？	B1?A1?	○	△					不明	9	△			中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-37	口貫通孔。頬に I 字状文。胴刺突多。摩滅
4621	青	五月女萢	小遮？？？	C1 ？	○						小片	3.4	△			頭頂刺突		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-38	遮光器眼？？　刺突多。摩滅
4622	青	五月女萢	大遮系統	A1 ？	○						小片	2.8				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-39	鼻貼付。口沈線刺突列。後頭平行線
4623	青	五月女萢	結髪？？	後葉？		部	位	不	明		小片	3.4				表裏刺突		集石	段丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-40	後期中葉土偶の肩？　摩滅
4624	青	五月女萢	後期以来	後後？		○					1/3?	9.8				摩滅		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-41	平行線による、首下弧線、背中入組文
4625	青	五月女萢	屈折像 B	C2 中			○	○		△	1/5	6.6					◎	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-42	パンツ、正中線刺痕列。縄文
4626	青	五月女萢	結髪	A1	？						細片	2.2				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-43	「胴」。結髪？　工字文
4627	青	五月女萢	小遮？	C1 古？					○		小片	4.5				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-44	部位境沈線間に弧状の沈線。手陰刻無
4628	青	五月女萢	後期以来？	後後？			○	○		○	不明	13.5	△			輪積中空	バ?	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-45	全体摩滅
4629	青	五月女萢	？	A1 ？	○						不明	6	△					集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-46	土版型土面顔。目刺痕列。頬工字陰刻
4630	青	五月女萢	？	C2 ？	○						不明	5						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-47	全体摩滅。眉鼻口連結隆帯。目貼付
4631	青	五月女萢	大逆出模倣	～ A1	○						1/7	7.8						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-48	三つ口状。後頭部工字状陰刻
4632	青	五月女萢	小遮	C1 古？		○	○	○	◎	○	2/3	12.8	△				線	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-49	大遮模倣。正中隆帯。手 B 突起。裁痕列
4633	青	五月女萢	後期以来	B1 ？	○						不明	5.5						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-50	後頭部両耳深い刺突。黥面。
4634	青	五月女萢	小遮？	C1 古？	△						細片	6.4	△					集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-51	顔剥離？　頭頂、耳 B 突起
4635	青	五月女萢	大遮系統	C2 V ？				○			小片	3.6				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-52	磨消縄文（横位連続）
4636	青	五月女萢	ゃ？？	C2 古？				△			小片	3.8						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-53	部位不明。全体摩滅。C 字入組文
4637	青	五月女萢	大遮系統	A1		△			○		小片	5				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-54	全体摩滅。入組工字文。指先刻目列
4638	青	五月女萢	註３	C2 Ⅱ？						△	不明	9.5				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-55	全体摩滅。下と同一？　脚下半 C 字入組文？
4639	青	五月女萢	註３	C2 Ⅱ？					△		不明	3.8						集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-56	全体摩滅。4638 と同一？　腕下半入組文
4640	青	五月女萢	屈折像 A ？	後後？						△	不明	4.7				空洞あり		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-57	膝縄文帯。爪先刻目列
4641	青	五月女萢	大遮？？	B2 ？？				△		○	不明	5.5				中空	バ?	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-58	足へら形。パンツ区画？
4642	青	五月女萢	刺突文祖形？	不明				？			小片	5.5				中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-59	刺突文多
4643	青	五月女萢	大遮系統？	C2 中～						△	小片	1.3				足中実		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-60	足角張った小判形？
4644	青	五月女萢	大遮	BC1 ？		△			○		小片	6.6				中空		１集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-1-65-7	磨消縄文（方形）。裁痕列無。手陰刻少
4645	青	五月女萢	後期以来？	後末？	○	○					不明	4					線	１集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-1-65-8	正中 Y 字沈線。耳貫通孔。頭頂目短沈線
4646	青	五月女萢	*x* 字形？	C2 後半？					○		小片	1.5				小型板状		１集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-1-65-9	全体に摩滅。直線的。手 B 突起陰刻無
4647	青	五月女萢	大遮？	BC1 ？	△						小片	3.3				中空		２西	砂丘	拠点	Ⅲ -3-2-17-1	頭頂開口？　頭頂 B 突起刻目列
4648	青	五月女萢	大遮祖形？	B2 古？	△	◎					不明	8				頭空洞		２東	砂丘	拠点	Ⅲ -3-2-35-1	★体内管状隙間。背中６字？方形文
4649	青	五月女萢	*x* 字×小遮	C2 後半？	△	◎	◎	◎	◎	○	4/5	7	△			小型板状	◎	３東	砂丘	拠点	Ⅲ -3-3-15-1	縁取文系。長身。正中刺痕列、▼刺突？
4650	青	五月女萢	小型無文	不明		◎	◎	◎	◎	○	不明	3.9						３集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-3-16-2	いかり肩。後期？
4651	青	五月女萢	結髪？	A1 ？			△	△			小片	3.8	△			中空		３集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-3-16-3	腰部に多重線。大遮系統？
4652	青	五月女萢	小遮？？	C１？？						△	小片	3				中空		４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-1	粗雑、ケズリ調整
4653	青	五月女萢	小遮？？	C1 新？					○		小片	3						４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-2	裁痕列無。指先刻目列
4654	青	五月女萢	大遮系統	A1					○		小片	3				中空		４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-4	「脚」。肩に多重線
4655	青	五月女萢	大遮系統？	A1		△					細片	2				中空		４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-5	刺突文祖形？「腰」。首下隆帯上工字文
4656	青	五月女萢	大遮系統？	A1				△		△	1/7	8	△		割口	中空		４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-6	結髪土偶？　付着部？　工字文系入組文
4657	青	五月女萢	小遮？？	～ C1?	○	○	◎	◎	○		不明	9	△				腹	４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-7	粗雑。乳腹突出。頭頂 B 突起
4658	青	五月女萢	小型無文？	不明		△	○	○	○		不明	10	△		？			４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-8	後期？　大きく剥離
4659	青	五月女萢	結髪	A1		○	△		△		1/6	4.5						４集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-4-38-9	胸 V 沈線。背中工字文。乳丸貼付
4660	青	五月女萢	大遮系統？	A1 ？		△					細片	1.8						５集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-1	「腰」。工字文。縄文
4661	青	五月女萢	大遮系統？	不明		部	位	不	明		細片	2.8				中空		５集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-2	大遮？　全体摩滅。沈線文
4662	青	五月女萢	大遮系統？	～ A1						△	細片	1.3				足中実		５集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-3	足楕円形
4663	青	五月女萢	大遮系統	A1 ？		△			○		小片	2.8						５集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-4	肩平行線

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部　位						残存率	現長	接	付着物		つくり	女	出土	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚		cm	合	赤	黒	（製作痕）	性	位置	立地	評価		
4664	青	五月女苑	刺突文祖形？	不明		部	位	不	明		小片	4.5				中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-5	結髪土偶？　背中？　刺突文
4665	青	五月女苑	大遮	～C1 古		△					細片	4				中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-6	BC2 ～。全体摩滅。肩２条隆帯刺突列
4666	青	五月女苑	結髪？？	A1 ？				?			細片	2.7				中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-7	「大遮」。腰？　刺突文？
4667	青	五月女苑	大遮系統？	A1 ？？		?					細片	3.4				中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-8	結髪土偶？全体に摩滅。隆帯に刺突列
4668	青	五月女苑	屈折像Ｂ？	Ｃ２？						△	小片	5.5						5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-9	全体に摩滅。ふくらはぎ突出。足ヘラ形
4669	青	五月女苑	ｊ字形	C2 前半	◎	◎	◎	◎	◎	○	略完	5				小型板状	線	6西	砂丘	拠点	Ⅲ -3-6-7-1	正中線系列。正中刺痕列。脚大きく開く
4670	青	五月女苑	刺突文祖形	A1 ？			○	○			1/5	2.4	△		?	中空	線	6東	砂丘	拠点	Ⅲ -3-6-34-2	腰縄文地工字文。胴表刺突多。正中文様
4671	青	五月女苑	結髪？？	A1 ？？				?			細片	3				中空？			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-1	全体に摩滅。刺突文
4672	青	五月女苑	刺突文祖形？	A1 ？		△			○		不明	3.6							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-2	全体に摩滅。肩バット状隆帯に多重線
4673	青	五月女苑	小遮？？	不明					?		小片	2.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-3	粗雑。肩との境？に沈線
4674	青	五月女苑	小遮	BC2 ？						△	小片	2.6				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-4	全体に摩滅
4675	青	五月女苑	結髪？？	A1 ？？				?			細片	1.8				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-6	刺突多
4676	青	五月女苑	大遮	C1 古		△			○		1/10	6	△			中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-7	全体に摩滅。腕垂直垂下。磨消縄文
4677	青	五月女苑	ｊ字変形	Ｃ２？		○	◎	○	△	△	5/9	8.8				小型板状	◎		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-8	▼Ｂ突起、正中刺痕列。側面沈線刺痕列
4678	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？			△	◎		◎	1/3	3.8				小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-9	縁取文系列。表裏側面沈線。陰刻無
4679	青	五月女苑	屈折像Ｂ？	Ｃ２？				○		△	1/6	6.6			割口	中隙間？	◎		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-10	▼線パンツ。背中黒付。縄文。★尻穴
4680	青	五月女苑	屈折像Ｂ？	Ｃ２？						△	小片	5.2	△						砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-13	膝に円文。ミガキ光沢。1172 類例
4681	青	五月女苑	大遮	C1 古？	△						小片	3.6	△			中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-15	全体摩滅。耳突起
4682	青	五月女苑	ｊ字変形？	Ｃ２？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	完形	5.7				胴横貫通			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-16	貼付多立体的。肛門孔。装身具？63ｇ
4683	青	五月女苑	大遮系統	C2 中～						△	小片	2.6	△			中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-17	脚太い。爪先刻目列
4684	青	五月女苑	小遮系統？	A1 ？				△		○	不明	5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-19	腰に渦巻文。大遮系統？？
4685	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？		◎	◎	◎	○		5/9	5.4	△			小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-20	正中線系列。正中刻目列。腕水平
4686	青	五月女苑	結髪？	A1 ？			△	○			1/7	3.5					パ？		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-21	腰脇に多重円。縄文
4687	青	五月女苑	？	不明						?	不明	2.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-22	結髪変形？？　台状脚無文　土偶？
4688	青	五月女苑	？	不明						?	不明	2.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-23	小遮系統 C2 ？後期？　多重線。端凹
4689	青	五月女苑	屈折像Ｂ？	Ｃ２？						○	小片	11.2			割口				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-24	脚黒付。胎土粗。ふくらはぎ表現。無文
4690	青	五月女苑	大遮	C1 古		△			○		1/10	9.1	△		割口	中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-25	腕垂直。肩黒付。磨消縄文。黒色研磨
4691	青	五月女苑	大遮	BC1 ？		△			○		1/9	7.4				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-26	大遮もどき？肩水平。磨消縄文。手Ｂ突起
4692	青	五月女苑	大遮	C1 古？				△		△	細片	4.2	△			中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-27	図天地逆。全体摩滅。部位境裁痕列
4693	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	完形	5				小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-28	無文。鼻？乳貼付。四肢陰刻無。20ｇ
4694	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？			△	△			小片	2				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-29	全体摩滅。「肩」。沈線文
4695	青	五月女苑	小遮異形	～C1 古	◎	◎	◎	◎	○	○	7/9	11.4	△			頭頂凹。→	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-30	★口～後頭貫通孔。正中沈線。蔓状文
4696	青	五月女苑	屈折像Ｂ	Ｃ２？		○	○	○			3/10	5.2				立像姿態？	●		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-31	乳大、正中刺痕列、パンツ。縦に欠損
4697	青	五月女苑	？	不明		○	◎	◎	?	◎	不明	2.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-32	
4698	青	五月女苑	？	不明					?	?	不明	2.2							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-33	「腕」
4699	青	五月女苑	大遮	～BC2	△						小片	5.2				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-36	摩滅。後頭部。裁痕列。縄文地蛇行沈線
4700	青	五月女苑	大遮	～C1 古			△				細片	4				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-37	下腹左。渦巻裁痕列
4701	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？				△		○	1/8	3.8	△		割口	中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-38	股下貫通孔？　縄文地工字文
4702	青	五月女苑	大遮系統	A1				△			小片	3.5	△			中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-39	「肩」。工字文
4703	青	五月女苑	ｊ字×小遮	～A1 ？	○						1/8	5				板状？			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-40	頭頂、後頭、耳に突起。4724 類例？
4704	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？	△						小片	3.1							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-41	頭頂突起。黒色研磨。九年橋遺跡に類例
4705	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？					?	?	小片	2				小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-42	「頭」。無文陰刻無
4706	青	五月女苑	結髪？	A1 ？		○	◎	△			不明	8.2	△				◎		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-44	正中沈線、パンツ。縄文。註４
4707	青	五月女苑	小型無文	不明	◎	◎	◎	◎	◎	◎	完形	1							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-45	
4708	青	五月女苑	屈折像Ｂ？	Ｃ２？			○	○			1/7	2.8					パ		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-46	図天地逆。パンツ内縄文
4709	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？	△						小片	3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-48	頭頂突起。九年橋遺跡に類例
4710	青	五月女苑	ｊ字形？	Ｃ２？					?	?	小片	2.8				小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-49	「頭」。片面摩滅
4711	青	五月女苑	大遮系統？	～A1	○						不明	5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-50	全体摩滅。弧状眉に鼻連結。側頭突起列
4712	青	五月女苑	後期以来	～後末		○			△		2/7	6.8				板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-52	全体摩滅。正中縄文帯。首下三叉文。
4713	青	五月女苑	後期以来	後末前後						△	小片	4.6							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-55	膝頭表現。爪先短沈線列
4714	青	五月女苑	屈折像Ｂ	Ｃ２？		○	○	△			1/10	10.4				肛門深穿孔	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-56	全体剥離摩滅。正中刺痕列
4715	青	五月女苑	小遮系統？	Ｃ２		◎	◎				不明	4.2				★乳房連結	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-57	裏摩滅。正中刺痕列。胴部全体文様
4716	青	五月女苑	刺突文祖形？	A1 ？		部	位	不	明		細片	3.8				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-58	結髪土偶？　貫通孔。刺突
4717	青	五月女苑	結髪？	A1 ？				△			小片	4				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-59	二条沈線。刺突多
4718	青	五月女苑	屈折像Ｂ	Ｃ２			○	○			1/8	4.8					◎		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-60	全体摩滅。正中刺痕列、パンツ。縄文
4719	青	五月女苑	大遮	B2 ？	△						小片	5		○		中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-66	黒色研磨。弧状眉。口貫通孔。顎弧線
4720	青	五月女苑	大遮	BC2		△					小片	3.8				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-67	胸▽隆帯刺突列。山字文。縄文
4721	青	五月女苑	大遮？？	～C1 古		△					細片	1.5				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-68	二条隆帯上に刺突列
4722	青	五月女苑	大遮	BC1 ？	△	○			△		1/9	6.4				中空製作痕			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-69	乳小さめ裁痕列無。磨消縄文（方形）
4723	青	五月女苑	ｊ字×小遮	Ｃ２	◎	○	◎	△			不明	9				板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-7 1	正中刺痕列。頭頂凹。胴部縄文地文様
4724	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２	○	◎	◎	◎	◎		4/5	11.5	△	○		小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-72	正中線系列。正中刺痕列。頭複雑突起
4725	青	五月女苑	ｊ字変形	Ｃ２？	◎	◎	◎	◎	○	◎	一欠	5.6		○		小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-73	腕水平。胴縁帯縄文
4726	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？		○	◎	◎	△	◎	3/5	12.2				小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-74	正中線系列。正中刺痕列。脚水平
4727	青	五月女苑	小型無文	Ｃ２？	△	○	◎	◎	○	◎	不明	7	△			小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-75	四肢Ｂ突起（Ｘ字形と同じ）
4728	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？		△	◎	○		△	1/2	5.4				小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-76	図天地逆。正中線系列。正中刺痕列
4729	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？			○	○		○	1/3	5				小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-77	正中刺痕列
4730	青	五月女苑	小型無文	不明	△	○	◎	◎	○	◎	不明	6.4	△			小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-78	正中沈線。四肢突起状でない
4731	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？	△	◎	◎	○	○	○	2/3	4.2				小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-79	正中線系列？　正中刺痕列。全体摩滅
4732	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？	△	◎	◎	◎	◎	◎	5/6	2.8				小型板状	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-80	正中線系列？　正中刺痕列。側縁沈線
4733	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？	◎	○	◎	◎	◎	◎	一欠	5				小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-81	正中線系列？　無文
4734	青	五月女苑	ｊ字形	Ｃ２？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	略完	4.4				小型板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-82	正中線系列？　無文
4735	青	五月女苑	ｊ字×小遮？	Ｃ２？	◎						不明	4.2				板状			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-83	四面Ｂ突起貫く沈線
4736	青	五月女苑	小型無文	不明	◎	◎			◎		不明	3.2							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-84	頭手Ｂ突起状。粗雑
4737	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？	△						小片	2.8							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-85	頭頂突起。複雑な陰刻
4738	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？	△						小片	3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-86	頭頂突起。双頭状
4739	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？	△						小片	3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-87	頭頂突起。彫去
4740	青	五月女苑	結髪	A1	○						1/7	4.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-88	結髪工字文。眉鼻Ｔ字貼付。後頭渦巻文
4741	青	五月女苑	結髪？	A1 ？	○						1/6	3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-89	顔部位貼付。眉鼻Ｔ字。眉上縄文？
4742	青	五月女苑	？	不明	?						不明	3.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-90	大遮系統後半の頭部簡略形？　口三叉文
4743	青	五月女苑	結髪？	A1 ？	○						1/7?	3.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-91	口挟む弧状線。後頭部瘤状突起２
4744	青	五月女苑	小遮	C1 古？	◎						不明	2.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-92	表裏縄文。後頭部Ｃ字文。頭頂耳にＢ突起

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部　位						残存率	現長	接	付着物		つくり	女	出土	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚		cm	合	赤	黒	（製作痕）	性	位置	立地	評価		
4745	青	五月女苑	屈折像Ｂ？	Ｃ２？	△						小片	4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-93	首輪状に隆帯刻目列。類例 1185、3305
4746	青	五月女苑	？	？	○						不明	2.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-94	鼻の位置→大遮系統？　粗雑。鼻貼付
4747	青	五月女苑	大遮系統	A1	○						1/9	6.2				胴中空？			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-95	全体摩滅。角状突起に多重線
4748	青	五月女苑	小遮	C1 古？		◎	◎	◎	◎	◎	7/10	6.4			割口				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-97	胴長系列。首に黒付。文様多。腰突出
4749	青	五月女苑	小遮？	C1 古？		○					1/8	3.6			割口				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-98	腕首に黒付。黒色研磨。背中入組文
4750	青	五月女苑	後期以来	～後末？	△	○	△		△		3/10	2.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-99	ｖネック系列。背中入組文？
4751	青	五月女苑	屈折像Ｂ	C2 中？			○	◎		○	1/4	7.6	△				●		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-101	正中刺痕、パンツ内縄文。▼線。屈曲弱
4752	青	五月女苑	小型無文？	不明		○	◎	○			不明	5.2							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-102	全体摩滅激しい。乳房円形貼付
4753	青	五月女苑	？	不明			？	？			不明	5.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-103	図天地逆？　腰？　Ｂ突起・水平沈線
4754	青	五月女苑	大遮系統？	A1 ？			○	△			小片	4.2				中空	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-104	結髪土偶？正中線隆帯刻目列。黒色研磨
4755	青	五月女苑	結髪？	A1 ？				△			小片	3.8	△			中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-105	大遮系統？「肩」。多重線
4756	青	五月女苑	結髪？	A1 ？				△			小片	2.8				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-106	結髪土偶？「肩」。入組多重線
4757	青	五月女苑	結髪	A1		○			○		1/10	4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-107	肩刻目隆帯一周背中瘤。肩直角
4758	青	五月女苑	大遮系統？	～ A1					○		小片	4.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-108	肩に縄文隆帯。腕に沈線Ｂ突起
4759	青	五月女苑	大遮系統？	A1		△					小片	3.7							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-109	肩に多重線
4760	青	五月女苑	大遮系統？	A1 ？		？			？		小片	5.4				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-110	図天地逆？「腰」。刻目隆帯２、多重線
4761	青	五月女苑	肩パット	A1		△			○		不明	4.5				輪積中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-111	工字文
4762	青	五月女苑	刺突文祖形	A1 ？		○	○				1/2	9.6	△			胸腹中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-112	肩瘤、隆帯。背工字文。刺突多
4763	青	五月女苑	刺突文祖形	A1 ？		○					小片	5	△			中空	線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-113	正中Ｙ字沈線。背中刺突帯の連続
4764	青	五月女苑	結髪？？	A1 ？？		△			○		小片	1.1							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-114	肩に多重弧線
4765	青	五月女苑	？	後期？					△		小片	1.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-115	指表現？
4766	青	五月女苑	？	後期？					○		不明	2.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-116	
4767	青	五月女苑	屈折像Ａ？	後期？						△	不明	3.6			割口				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-117	爪先刻目列。脚に黒付。粗雑
4768	青	五月女苑	小遮	～ C1 古				△		○	1/8	4.2				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-120	腰横Ｂ突起。蔓状文
4769	青	五月女苑	屈折像Ａ？	後期？						△	不明	4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-121	全体に摩滅
4770	青	五月女苑	屈折像Ａ？	後期？						△	不明	2.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-122	4767 類似。爪先刻目列
4771	青	五月女苑	？	後期？						△	小片	1.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-123	爪先刻目列
4772	青	五月女苑	？	後期？						△	不明	4.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-124	足首に向かってすぼまる
4773	青	五月女苑	？	後期？						◎	不明	2				横位貫通孔			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-125	爪先刻目列。土偶でない？
4774	青	五月女苑	屈折像？	不明						△	細片	2.2							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-126	足首屈折
4775	青	五月女苑	？	後期？						△	小片	3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-128	膝頭表現。爪先刻目列
4776	青	五月女苑	小遮？	～ C1 古						△	小片	3				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-129	底面が窪む
4777	青	五月女苑	大遮系統	A1 ？						△	1/7	5				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-130	足三角形
4778	青	五月女苑	小遮？	～ C1 古						△	小片	3.2				中空			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-132	全体に摩滅
4779	青	五月女苑	小遮？	～ C1 古				△		○	1/8	3.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-136	爪先刻目列。腰沈線文
4780	青	五月女苑	結髪？	A1 ？						△	小片	2.2				足中実			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-137	
4781	青	五月女苑	結髪？	A1 ？						△	小片	1.8				足中実？			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-138	爪先刻目列（刻目６）
4782	青	五月女苑	刺突文祖？	～ A2 ？			△	◎		◎	2/5	6.2							砂丘	拠点	21 →Ⅲ -2-13-1	腹片面刺突多。腰平行線。腰横突出
4783	青	五月女苑	刺突文祖？	後～末	△						小片	2.3							砂丘	拠点	21 →Ⅲ -2-13-4	図天地逆？頭頂突起。多重短沈線。縄文
4784	青	五月女苑	？	不明	？						細片	2							砂丘	拠点	21 →Ⅲ -2-13-5	「晩期後半後頭部装飾突起片」。沈線
4785	青	五月女苑	結髪	A1 ？	○						1/7	7				胴中空			砂丘	拠点	21 →Ⅲ -2-64-1	★結髪貫通孔。結髪工字文？　眉鼻Ｔ
4786	青	五月女苑	小遮系統？	A1 ？	◎						不明	3.6				「中空」			砂丘	拠点	21 →Ⅲ -2-64-2	後頭部下方山字貼付上刻目列。眉鼻Ｔ
4787	青	五月女苑	？	A1 ？？				？			不明	2.3				中空			砂丘	拠点	21 →Ⅲ -2-64-3	「下腹」。結髪土偶？　工字文？　穿孔
4788	青	川原平 (1)	大遮祖型？	Ｂ１？	△						細片	2.6				中空			段丘	拠点	県教 16a → 182-1	目粘土粒小に沈線。眉弧状隆帯
4789	青	川原平 (1)	大遮祖型？	Ｂ１？	△						細片	3				中空			段丘	拠点	県教 16a → 182-2	目粘土粒小に沈線。鼻？隆帯刻目列
4790	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？	△						細片	4.3				中空			段丘	拠点	県教 16a → 182-3	右目
4791	青	川原平 (1)	大遮系統？	C2 新～	△						細片	1.6							段丘	拠点	県教 16a → 182-4	「角状突起」。短沈線の文様
4792	青	川原平 (1)	大遮系統	第Ｖ？	○	◎					3/10	8.7				中空			段丘	拠点	県教 16a → 182-5	工字文系三叉文。磨消縄文。後頭貫通孔
4793	青	川原平 (1)	小遮？	BC2 ？	△						細片	4.6		○		中空			段丘	拠点	県教 16a → 182-6	頭頂扇状突起。後頭部裁痕列
4794	青	川原平 (1)	大遮系統？	A1 ？	△						細片	2							段丘	拠点	県教 16a → 182-7	顔の縁？　顔の縁隆帯区画刻目列
4795	青	川原平 (1)	〃？？	C2 ～？	△						細片	1.8				中空			段丘	拠点	県教 16a → 182-8	「口」。摩耗。目の可能性も？
4796	青	川原平 (1)	大遮祖型？	Ｂ１？	△	○	○	○			2/5	15.5	△			中空	パ		段丘	拠点	県教 16a → 183-1	背中入組帯状文ほか文様。頬平行線
4797	青	川原平 (1)	大遮？	BC1 ？		△					小片	5.3				中空			段丘	拠点	県教 16a → 183-2	首下円形突起。磨消縄文。断続沈線
4798	青	川原平 (1)	大遮？	BC1 ～２						△	小片	5				中空			段丘	拠点	県教 16a → 183-3	脚細長い。つま先刻目列
4799	青	川原平 (1)	大遮系統	A1 ？		△			○		小片	3.4				胴中空			段丘	拠点	県教 16a → 183-4	右肩。入組沈線文
4800	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	後末？				○			不明	8.3				中空	▼		段丘	拠点	県教 16a → 184-1	★下面貫通孔。肛門表現も？　縄文
4801	青	川原平 (1)	大遮？？	不明			？				小片	4				輪積中空			段丘	拠点	県教 16a → 184-2	「土偶の部品」。写真無。磨消縄文
4802	青	川原平 (1)	大遮？？	不明		？					小片	3.8				輪積中空			段丘	拠点	県教 16a → 184-3	「土偶の部品」。写真無。首下？
4803	青	川原平 (1)	大遮？？	BC1 ～２	△						小片	3.3				輪積中空			段丘	拠点	県教 16a → 184-4	「土偶の部品」。写真無。後頭部？
4804	青	川原平 (1)	大遮？？	不明		？					小片	0.4				中空			段丘	拠点	県教 16a → 184-7	「土偶の部品」。写真無。肩？
4805	青	川原平 (1)	大遮？？	不明			？				細片	2.4				中空			段丘	拠点	県教 16a → 184-8	「土偶の部品」。写真無。縄文。背面？
4806	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	瘤Ⅳ	○						小片	8.8	△	○					段丘	拠点	県教 16a → 185-1	下と同一個体。結髪。耳貫通孔。縄文。註５
4807	青	川原平 (1)	〃	〃		○					1/4	8.3	△	◎					段丘	拠点	県教 16a → 185-2	上と同一。背入組文。区画線三叉文。註５
4808	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	瘤Ⅳ					△		小片	8.5							段丘	拠点	県教 16a → 185-3	「185 － 1，２と同一？」。肘隆帯縄文
4809	青	川原平 (1)	後期以来？	後末？					○		小片	9							段丘	拠点	県教 16a → 186-1	「185 － 1,2 と同一？」？？　肩縄文
4810	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	Ｂ１？	○						小片	8.5				首中空			段丘	拠点	県教 16a → 186-2	★口貫通。結髪。縄文。眉目近接。註６
4811	青	川原平 (1)	後期以来？	後後？				？			小片	7							段丘	拠点	県教 16a → 186-3	「腕？」。短沈線多。縄文。臍貼付？
4812	青	川原平 (1)	後期以来？	後末？	◎	◎	○		◎		不明	6.7					線		段丘	拠点	県教 16a → 187-1	背中屈曲強い入組文。口両端△文
4813	青	川原平 (1)	後期以来	後後？		○	○				3/8	9		○	割口		◎		段丘	拠点	県教 16a → 187-2	乳大垂れ下がる。正中線刺突。註７
4814	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	後期		△	○	◎		○	不明	6.8				体貫通孔	●		段丘	拠点	県教 16a → 187-3	乳大。▼沈線。パンツ。縄文。文様
4815	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？						？	不明	4.6							段丘	拠点	県教 16a → 188-2	「頭髪」。磨消縄文
4816	青	川原平 (1)	後期以来？	後後？		？					細片	1.6							段丘	拠点	県教 16a → 188-3	「頭髪」。肩？　縄文
4817	青	川原平 (1)	後期以来？	後末？					？	？	小片	4							段丘	拠点	県教 16a → 188-6	「肩部」。腕か脚？　刻目列。縄文
4818	青	川原平 (1)	大遮	BC2	○	○	○	○	○	○	1/2	33	★	○				坑覆	段丘	拠点	県教 16b → 92,93	背中方形文。20 m程度接合→註８
4819	青	川原平 (1)	？	後期？		◎	◎	◎	○	○	9/10	5.4				口尻貫通	線		段丘	拠点	県教 16b → 160-5	乳縦長貼付。背中雑沈線文
4820	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？						？	不明	2.9							段丘	拠点	県教 16b → 160-6	「頭髪部」。足？平行線
4821	青	川原平 (1)	結髪	A1 ？		△			○		小片	2.2							段丘	拠点	県教 16b → 160-7	乳に続く隆帯刻目なし？　背竹管刺突列
4822	青	川原平 (1)	結髪	A1		△					小片	6				中空			段丘	拠点	県教 16b → 167-7	乳房刻目隆帯Ｖ字状？
4823	青	川原平 (1)	結髪	A1 ？			△	○		△	小片	4				中空？	◎		段丘	拠点	県教 16b → 183-1	▼短沈線、パンツ。パンツ内刺突
4824	青	川原平 (1)	刺突文祖型？	A1		◎	◎	◎	△	△	3/5	12.5		漆	割口			３盛	段丘	拠点	県教 17a → 142-1	結髪土偶？　腰工字文？　首無付。註９
4825	青	川原平 (1)	結髪？？	A1 ？？		△	◎	△			1/4	10.5				体内管孔？	パ	３盛	段丘	拠点	県教 17a → 142-2	パンツ内縄文。乳房円形貼付

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部　位					残存率	現長	接合	付着物		つくり	女性	出土位置	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	脚		㎝		赤	黒	（製作痕）			立地	評価		
4826	青	川原平 (1)	大遮系統？	A1 ？				△	○	1/6	6.2			割口				段丘	拠点	県教 17a → 157-1	結髪土偶？　腰・足黒付。腰縄文地沈線
4827	青	川原平 (1)	結髪	A2 ～？			◎	△		1/5	4.6				中空	◎		段丘	拠点	県教 17a → 157-2	図天地逆。正中６字文、パンツ内条線
4828	青	川原平 (1)	ｘ字形	C2 ？	○	◎	◎	◎	◎	○	9/10	5.5		漆	小型板状			段丘	拠点	県教 17a → 157-3	陰刻文系列？帯状文？　粗雑沈線
4829	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？				?		不明	4.7							段丘	拠点	県教 17a → 157-4	図天地逆？腰？　表裏縄文パンツ？
4830	青	川原平 (1)	？	不明					△	小片	2							段丘	拠点	県教 17a → 157-5	写真無。脚と足の境沈線。小遮？？
4831	青	川原平 (1)	後期以来	瘤Ⅳ？	◎	◎	◎	◎	○	◎	一欠	21.2	△		割口		◎	クラック	段丘	拠点	県教 17a → 215-1	首脚黒付→★接合復元。磨消縄文。註 10
4832	青	川原平 (1)	小遮？	～ C1 ？	△	○	△		○		不明	4.1						クラック	段丘	拠点	県教 17a → 215-2	頭欠損？　首裁痕列。手Ｂ突起。沈線文
4833	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？		○	◎	○	○	○	3/5	11.2			腕中実			東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-1	★尻貫通孔。磨消縄文(山字)。背中二段？
4834	青	川原平 (1)	後期以来？	～ B2	○						不明	5.2		○	割口	首管孔		東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-2	首黒付。眉弧状。側頭～後頭突起列
4835	青	川原平 (1)	大遮	～ BC2	△						小片	6.3				中空		東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-3	下と同一個体？　首点列？　後頭縄文
4836	青	川原平 (1)	大遮	～ BC2	△						小片	3.8				中空		東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-4	上と同一個体？
4837	青	川原平 (1)	小遮？？	Ｃ１？		○	○	◎	○	○	2/3	6.7	△				◎	東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-5	正中線パンツ。屈折像Ｂ類祖形？
4838	青	川原平 (1)	後期以来？	～ B1 ？		部	位	不	明		小片	8			輪積中空			東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-6	写真無。胴？　縄文地沈線文。裏面凹凸
4839	青	川原平 (1)	？	後期？		?					小片	2						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-7	「肩」
4840	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？			◎	◎		△	不明	3		○			線	東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-8	正中隆帯。腰隆帯
4841	青	川原平 (1)	？	不明		部	位	不	明		小片	3.6				中空		東捨	段丘	拠点	県教 17b → 31-9	「胸」。貼付。二重弧線
4842	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？						?	小片	2.2						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-10	小型無文土偶？
4843	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？		部	位	不	明		小片	3.3						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-11	「体部」。縄文地多重線
4844	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	後期？		?					小片	8.8				輪積中空		東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-12	「推定 40㎝」。縄文地沈線文。乳剥落？
4845	青	川原平 (1)	ｘ字×小遮	Ｃ２？		○	◎	◎	△	◎	7/10	6.3						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-13	表裏対向△掘去。腰Ｂ突起。「精製」
4846	青	川原平 (1)	小遮？？	ＢＣ？		△			○		小片	4						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-14	後期以来？　蔓状文
4847	青	川原平 (1)	後期以来	後期？	◎	○	△		△		不明	5.3						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-15	羊角状耳。弧状眉貼付。無文？
4848	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？			○	○		△	不明	3.4				肛門管孔		東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-16	がに股。無文？
4849	青	川原平 (1)	後期以来	B1 ？		部	位	不	明		不明	4.7						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-17	表裏文様。魚眼状文変形
4850	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	不明			?				不明	5						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 32-18	「右脚」。無文？
4851	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？			△	△		◎	不明	6.5				脚中実	線	東捨	段丘	拠点	県教 17b → 33-19	正中隆帯刺突臍も
4852	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？						△	小片	2						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 33-20	土偶？「右脚」。無文？
4853	青	川原平 (1)	屈折像Ａ	～後末			○	○		○	不明	8		◎		5028 類例	◎	東捨	段丘	拠点	県教 17b → 33-21	正中？▼貼付「男性器」。背入組文？
4854	青	川原平 (1)	後期以来	後後？		○					不明	4.6					線	東捨	段丘	拠点	県教 17b → 33-22	正中平行線。背中文様類例註 11
4855	青	川原平 (1)	？	後期？		△					小片	2						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 33-23	左肩。大遮のようなＶ字隆帯。焼成良好
4856	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？		?					不明	5						東捨	段丘	拠点	県教 17b → 33-24	二重弧線？
4857	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？		部	位	不	明		不明	6.6				中空		北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-1	「肩」。磨消縄文？
4858	青	川原平 (1)	「土偶か」	後期？	?	?			?		不明	5				「手づくね」		北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-2	粗雑。無文
4859	青	川原平 (1)	ｘ字×小遮	Ｃ２？		◎	◎	○	○	○	2/3	6		漆				北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-3	肉彫的装飾。腰Ｂ突起。背対向△
4860	青	川原平 (1)	？	不明						?	小片	2.8			割口			北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-4	「脚？」。両端に黒付。無文
4861	青	川原平 (1)	後期以来？	B1 ？？	△	◎			◎		不明	3.5						北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-5	小遮系統？　「頭平坦皿状」。三叉文？
4862	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？				△		○	1 /9	7				中空		北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-6	部位境裁痕列。脚長め
4863	青	川原平 (1)	？	不明		部	位	不	明		不明	5.6						北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-10	「肩」。縄文地三叉文？
4864	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？				△			不明	6.8		○	割口		パ	北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-11	脚に黒付。パンツ区画内縄文
4865	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？			?	?			不明	9.4		★				北東	段丘	拠点	県教 17b → 97-18	「側縁」。赤色顔料上白色顔料。磨消縄文
4866	青	川原平 (1)	大遮系統	C2 Ⅳ？				△		○	1/9	6.4				中空		東延	段丘	拠点	〃 121/183-10	腰縄文地沈線文。爪先刻目列
4867	青	川原平 (1)	後期以来	後末	◎	◎	◎	◎	◎	○	4/5	15.8					線	東延	段丘	拠点	〃 121/183-11	正中区画内刺突。口両脇弧線。眉弧状
4868	青	川原平 (1)	大遮	C1 新？	○						小片	5.3		○		中空		東延	段丘	拠点	〃 126/192-12	C2 古？　顔縄文。頭頂４孔突起めぐる
4869	青	川原平 (1)	小遮？	BC2 ？	○						小片	4.9				中空		北東延	段丘	拠点	〃 126/192-13	大遮模倣。首中実？　後頭部羊歯状文
4870	青	川原平 (1)	結髪（粗）	A1?	?	○	◎	○	○	○	不明	12.5	△				?	北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-1	摩滅。正中沈線？パンツ内刺突。多重円
4871	青	川原平 (1)	後期以来	後後？						△	小片	3.8						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-2	爪先突出刻目３
4872	青	川原平 (1)	？	不明		△					小片	2.2						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-3	乳房
4873	青	川原平 (1)	後期以来	後後？		△			○		小片	5						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-4	いかり肩。摩滅？
4874	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		不明	5						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-5	「てづくね土偶」
4875	青	川原平 (1)	小遮？	不明						?	小片	3.4						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-6	「右手」。足との境沈線
4876	青	川原平 (1)	？	後期？						?	小片	3.6						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-7	「足」。横位沈線と刺突列
4877	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？		?					不明	2.7						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-8	「腕」。いかり肩？　摩滅。縄文地沈線
4878	青	川原平 (1)	大遮系統？	C2 古？				△			小片	3.5				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-9	写真無。隆帯上縄文。Ｃ字文
4879	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？					?		小片	2.9						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-10	「左手」。途中円く突出。縄文地沈線
4880	青	川原平 (1)	大遮？？	前葉？			?				小片	3.2				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-11	背中破片？　磨消縄文
4881	青	川原平 (1)	大遮？	C1 古？				△			小片	2.5				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-12	縄文地水平沈線、三叉文
4882	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？	△						小片	2.5		漆		中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-13	目。水平沈線下にも縄文
4883	青	川原平 (1)	大遮？？	不明	?						小片	4.2				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-14	後頭部？「左肩」。貼付。磨消縄文。入組文
4884	青	川原平 (1)	大遮系統？	C2 古？			?				小片	4.3				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 22-15	腹裏？　縄文地入組文
4885	青	川原平 (1)	後期以来	B1	○						1/10	7.3		○		口管孔		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-16	弧状眉。顎弧状区画。縄文。耳貫通孔
4886	青	川原平 (1)	土偶？	不明	?						不明	4.4						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-17	「てづくね土偶。目口を刺突」
4887	青	川原平 (1)	後期以来	B1 ？	○						1/9	6.4			割口			北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-18	首に黒付。弧状眉。後頭部結髪粘土
4888	青	川原平 (1)	？	不明		△					不明	3.8						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-19	「右胸。乳房剥落」。無文
4889	青	川原平 (1)	土偶？	不明							不明	3.5						クラック	段丘	拠点	県教 17c → 23-20	土器突起？「下半身」。縄文
4890	青	川原平 (1)	後期以来	～ B1 ？		◎	◎	◎	◎	○	3/5	9.2				体貫通孔	◎	北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-21	摩滅。正中隆帯パンツ。背首下円形突起
4891	青	川原平 (1)	土偶？	不明							不明	6.6						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-22	「屈折土偶の股」
4892	青	川原平 (1)	後期以来	瘤Ⅳ？						△	小片	5.5						クラック	段丘	拠点	県教 17c → 23-23	足突出。磨消縄文
4893	青	川原平 (1)	土偶？	不明							不明	7.1						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-24	「屈折土偶の手」。沈線
4894	青	川原平 (1)	土偶？	不明							不明	3.5						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 23-25	「右手」。縄文。沈線
4895	青	川原平 (1)	後期以来	後後？		○	◎	○	○	◎	3/5	17.2				胴中空	◎	北捨	段丘	拠点	県教 17c → 24-26	正中沈線パンツ。磨消縄文。股貫通孔
4896	青	川原平 (1)	後期以来？	後末？		△			○		不明	5						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 24-27	4898 同一？　腕磨消縄文。肩瘤。手Ｂ突起
4897	青	川原平 (1)	土偶？	不明						?	不明	2.7				中空？？		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 24-28	「右腕」。先端刻目列
4898	青	川原平 (1)	後期以来？	後末？		△			○		不明	4.4						北捨	段丘	拠点	県教 17c → 24-29	4896 同一？　腕磨消縄文。手Ｂ突起
4899	青	川原平 (1)	大遮系統	C2 古？		△	○	○	○	○	3/7	8.9		◎		中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 24-30	磨消縄文。腰隆帯
4900	青	川原平 (1)	後期以来	後末？	○	◎	○	◎	◎	○	4/5	21	○		割口	腕脚中実	◎	北捨	段丘	拠点	県教 17c → 25-31	腰黒付。正中隆帯パンツ。「仮面土偶」
4901	青	川原平 (1)	大遮	C1 新？	◎						1/7	6.9		○		中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 25-32	
4902	青	川原平 (1)	大遮系統？	C2 古？	○						1/10	5		●		中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 25-33	頭頂高い突起。目横線両端届かず
4903	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？	△						小片	7.2		○		中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 26-34	後頭部隆帯状裁痕列、細い弧状貼付
4904	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？						△	不明	4.2			割口	中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 26-35	★足貫通孔。脚黒付。足三角形。爪先刻目
4905	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		不明	5.3				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 26-36	「体部上半」。隆帯貼付
4906	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		不明	2.7				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 26-37	「体部」。縄文地沈線文
4907	青	川原平 (1)	大遮？	C1 新？	○						1/8	4.8				頭中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 26-38	目剥落？磨耗？　頭頂△開口４箇所

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部　位						残存率	現長	接	付着物		つくり	女	出土	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚		cm	合	赤	黒	（製作痕）	性	位置	立地	評価		
4908	青	川原平 (1)	大遮	BC1 ？	△	○					1/9	6.5				中空		北捨	段丘	拠点	県教 17c → 26-40	内面粘土接合痕管孔？　磨消縄文（方形）
4909	青	川原平 (1)	大遮	C1 新？	○	○	○	○	○	○	7/10	26.5	△	◎		腕中実		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 70-1	表裏胴上下区画線無。磨消縄文
4910	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？	○						1/8	10.8		◎		中空？		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 71-2	焼成良好。首文様三段。後頭縄文
4911	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？	○						1/10	13				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 72-3	頭頂突起。顎弧線３。縄文
4912	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？	△						小片	7.3		◎		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 72-4	
4913	青	川原平 (1)	獣面大遮	C1 新？	○	○	△		○		1/5	14.5	△	◎		腕中実		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 73-5	★額に獣面？　磨消縄文。粗雑？
4914	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？		△					小片	2.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 73-6	写真無。背中首下？　磨消縄文（山字文）
4915	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古	△						小片	3.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 73-7	後頭部。縄文地蛇行沈線。焼成良好
4916	青	川原平 (1)	大遮	前葉？				?			小片	1.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 73-8	「首」股？　磨消縄文施文域端
4917	青	川原平 (1)	大遮	～C 1	△						小片	2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 73-9	写真無。遮光器眼
4918	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古				?			小片	3.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 74-10	「頭裏」背中腰？　裁痕列、沈線文
4919	青	川原平 (1)	大遮	～C 1		?					小片	3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 74-11	写真無。「頭」肩？　磨消縄文（広斜文）
4920	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？	△						細片	2.4						西捨	段丘	拠点	県教 17d → 74-12	頭頂突起。裁痕列。Ｂ突起
4921	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？					△		小片	4.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 74-13	手。突起陰刻
4922	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？			△	○			1/7	8.4	△			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 74-14	磨消縄文（山字文３段以上）。裁痕列
4923	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古		△					小片	3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 74-15	胸。乳房周囲裁痕列。磨消縄文
4924	青	川原平 (1)	大遮	ＢＣ				?			小片	4.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 74-16	腰？後頭部？　磨消縄文
4925	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？				△		△	小片	7.8	△			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 75-17	写真無。下腹。磨消縄文。刺突列
4926	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？				○		○	1/5	12				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 75-18	★下腹貫通孔。磨消縄文（文様は C1 ？）
4927	青	川原平 (1)	大遮？	BC ？		△	△	△			小片	7.2				輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 75-19	写真無。磨消縄文。裁痕列。★胎土分析
4928	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古				△			小片	2.7				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 75-20	下腹？　渦巻意匠裁痕列。縄文
4929	青	川原平 (1)	大遮系統？	～ C2 古				△			小片	3.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 75-21	腰？　刻目隆帯２条上突起貼付
4930	青	川原平 (1)	大遮	C1 古				○		○	1/6	12.2	△	○		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 76-22	部位境裁痕列。磨消縄文（広斜文）。脚短
4931	青	川原平 (1)	大遮	BC1 ？	△						小片	6.3		○		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 76-23	弧状眉～鼻貼付。口貫通
4932	青	川原平 (1)	大遮系統	A1	△						小片	4						西捨	段丘	拠点	県教 17d → 76-24	「漆液容器」。写真無。後頭工字文
4933	青	川原平 (1)	土器？	BC2 ？							小片	3.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 76-25	大遮？注口土器？　裁痕列
4934	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？		△			○		1/7	9.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 77-26	磨消縄文。腕短い。手突起単純陰刻
4935	青	川原平 (1)	小遮	C1 古？	○						不明	3.6						西捨	段丘	拠点	県教 17d → 77-27	目横線無。後頭部剥落？
4936	青	川原平 (1)	大遮	Ｃ１？	△						小片	7.8		○		輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 77-28	
4937	青	川原平 (1)	後期以来	B1 ？	○	○					1/5	9.6			割口	中空	線	西捨	段丘	拠点	県教 17d → 77-29	肩黒付。正中隆帯。眉弧。口貫通。胴蔓文
4938	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		小片	4.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 77-30	「首」。写真無
4939	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		小片	3.9				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 77-31	「体」。沈線。刺突？
4940	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？					?		細片	2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 77-32	「首」腕？　裁痕列と接して縄文帯（刺突列）
4941	青	川原平 (1)	後期以来	B1 ？	◎	◎	○		△		1/3	14				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 78-33	仮面状。弧状眉。後頭透彫。磨消縄文
4942	青	川原平 (1)	大遮系統	A1 ？	◎	○			△		1/4	8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 78-34	後頭貫通孔。首下工字文。貼付鼻上方
4943	青	川原平 (1)	大遮もどき？	A1 ？	◎	◎	◎	◎	△	○	4/5	15.5	△	○				西捨	段丘	拠点	県教 17d → 78-35	写真無。Ｙ字眉貼付。背中平行線
4944	青	川原平 (1)	？	後期？						○	不明	3.6						西捨	段丘	拠点	県教 17d → 78-36	赤褐色。「蹲踞土偶の足」。無文
4945	青	川原平 (1)	後期以来？	B1 ？	△	△					小片	10	△			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-37	胴磨消縄文、三叉文
4946	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？					?		細片	3.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-38	「肩」腕？　写真無。点列。類例 1096
4947	青	川原平 (1)	大遮？	BC2 ？		△					細片	1.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-39	肩？　円形瘤状突起。首羊歯状文？
4948	青	川原平 (1)	大遮？	BC1 ？	△						小片	6.7				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-40	写真無。縄文
4949	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？		△					小片	5.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-41	左肩。部位境裁痕列。突起
4950	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		不明	5.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-42	「体部」。文様
4951	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？		部	位	不	明		小片	3.9				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-43	「体部」。山字文？
4952	青	川原平 (1)	土偶？	前葉？		部	位	不	明		小片	6.6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-44	「体部」。文様多段
4953	青	川原平 (1)	大遮？	不明		部	位	不	明		小片	3.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-45	「体部」。段→腕？腰？　文様
4954	青	川原平 (1)	大遮？	～ C1 古				?			小片	4.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 79-46	写真無。「体部」脇腹？　裁痕列渦巻？
4955	青	川原平 (1)	大遮	C1 新？	△	△					1/6	5.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-47	首無文。乳房の周り裁痕列無。磨消縄文
4956	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古				?			細片	3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-48	「肩」股？　写真無。縄文。部位境裁痕列
4957	青	川原平 (1)	大遮？	～C 1		?					細片	2.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-50	肩？　二条隆帯刻目列
4958	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？				?			細片	3.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-51	「右肩」下腹？　刺突多。文様
4959	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？				?			小片	4.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-52	脚の付け根？　刺突多
4960	青	川原平 (1)	大遮	前葉？		?					細片	2.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-53	肩。磨消縄文（山字文？）
4961	青	川原平 (1)	大遮	C1 新？		○					小片	5.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-54	胸。摩滅。磨消縄文？　乳周囲裁痕無
4962	青	川原平 (1)	大遮	～C 1		△					細片	3.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-55	胸？図天地逆？　裁痕列。磨消縄文（ノ字）
4963	青	川原平 (1)	大遮	不明		部	位	不	明		細片	4.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-56	写真無。「体部」。文様。★胎土分析
4964	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？		部	位	不	明		細片	3.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-57	「体部」。磨消縄文
4965	青	川原平 (1)	大遮？？	不明				?			小片	2.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 80-58	「肩～首」股？。無文
4966	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？			△	△			小片	8.8		○		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-59	右脇腹。磨消縄文
4967	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古		△					細片	1.6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-60	首～肩。首下隆帯点列。縄文
4968	青	川原平 (1)	大遮	Ｃ１？		△					細片	1.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-61	乳。写真無
4969	青	川原平 (1)	大遮	BC2		△					小片	5.4	△			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-62	胸。首途中乳周囲裁痕列。磨消縄文
4970	青	川原平 (1)	大遮	～C 1		△					小片	2.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-63	肩。磨消縄文
4971	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		小片	2.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-64	「体部」後期前葉土器片？　方形区画
4972	青	川原平 (1)	後期以来？	後末？		?					小片	3.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-65	「右肩」注口土器？　刻目帯弧
4973	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ？				△			小片	3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-66	腰？　裁痕列
4974	青	川原平 (1)	大遮	～C 1		部	位	不	明		細片	3.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-67	胴。低い曲線貼付上刺突列
4975	青	川原平 (1)	大遮	前葉？		部	位	不	明		細片	3.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-68	胴？　縄文
4976	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		小片	4.6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-69	「首～肩」
4977	青	川原平 (1)	？	不明		部	位	不	明		小片	4.1				輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-70	「首」。写真無。縄文地沈線文
4978	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		細片	2.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-71	「首」。写真無。縄文
4979	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明		細片	2.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 81-72	写真無。縄文
4980	青	川原平 (1)	大遮	C1 古		△			○		小片	7		○		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 82-73	磨消縄文。裁痕列。腕短い。下と同一？
4981	青	川原平 (1)	大遮	C1 古		△			○		小片	7		○		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 82-74	磨消縄文。裁痕列。腕短い。上と同一？
4982	青	川原平 (1)	大遮	C1 古				△		△	小片	3.5		○	割口	中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 82-75	足黒付。脚境刻目隆帯。黒光り
4983	青	川原平 (1)	大遮	BC1 ？		△			○		小片	5.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 82-76	腕境裁痕列無。磨消縄文
4984	青	川原平 (1)	大遮系統	C2 Ｖ？				○		○	1/6	5.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 82-77	腰縄文地文様。爪先刻目列
4985	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？		△					細片	2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 82-78	「左肩」。縄文
4986	青	川原平 (1)	？	不明		?			?		細片	2.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 82-79	「肩」脇？　無文。黒光沢？
4987	青	川原平 (1)	大遮系統？	C2 古			△	○		○	3/8	6.2			割口	中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-80	腹と脚二箇所黒付。縄文地Ｃ字文二段
4988	青	川原平 (1)	大遮	前葉		△	○	○		○	3/8	11.9				輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-81	磨消縄文（背中方形入組文）
4989	青	川原平 (1)	大遮？	BC2 ？					○		小片	2.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-82	手Ｂ突起。第一系列（方形文）

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部　位					残存率	現長	接合	付着物		つくり	女性	出土位置	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	脚		cm		赤	黒	（製作痕）			立地	評価		
4990	青	川原平 (1)	大遮	前葉			?			細片	3.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-83	「肩」腰上？　磨消縄文（方形文）
4991	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？		△			○	小片	4.6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-84	裁痕列。腕短い。手円形突起
4992	青	川原平 (1)	大遮	ＢＣ	△					小片	2.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-85	「脚」首？　裁痕列縦にＢ突起
4993	青	川原平 (1)	?	不明		?				細片	1.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-86	「肩」。縄文
4994	青	川原平 (1)	大遮系統？	Ｃ２？					△	小片	5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-87	脚。写真無。無文
4995	青	川原平 (1)	大遮？	BC2	△	△				小片	6.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-88	首裁痕列？　肩隆帯刺突列。粘土接合痕
4996	青	川原平 (1)	大遮？	～Ｃ１？			?			小片	5				輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-89	写真無。磨消縄文。指頭圧痕★胎土分析
4997	青	川原平 (1)	大遮系統？	C2 Ｖ？				△	△	小片	5.6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-90	腰縄文地沈線文。脚と足の間沈線
4998	青	川原平 (1)	大遮系統？	Ｃ２？					○	1/7	5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-91	足底くぼむ
4999	青	川原平 (1)	大遮	C1 古？				△	○	小片	5.7				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-92	脚短い。部位境裁痕列
5000	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古					△	小片	7.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-93	腰との境裁痕列
5001	青	川原平 (1)	?	不明		?				細片	2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-94	「右肩」。無文
5002	青	川原平 (1)	?	不明		部	位	不	明	小片	1				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-95	「脚」胴？　蔓状文
5003	青	川原平 (1)	大遮	BC2 ?			△	△	○	1/6	11.2	△			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-96	写真無。部位境裁痕列。
5004	青	川原平 (1)	大遮	前葉				△	△	小片	6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 85-97	磨消縄文。部位境裁痕列
5005	青	川原平 (1)	大遮系統	C2 前半				△	○	1/6	6.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 85-98	股水平刻目隆帯２条。焼成良好
5006	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？				?	?	小片	5.8				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 85-99	「右脚」。脚にも縄文？　裁痕列？
5007	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？					△	小片	5.6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-100	脚の途中隆帯点列？→ 1096 類例？
5008	青	川原平 (1)	大遮	前葉？			?			細片	4.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-101	写真無。背中破片？　磨消縄文（入組文）
5009	青	川原平 (1)	大遮	前葉					△	小片	6.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-102	脚長い。無文。足裏楕円形
5010	青	川原平 (1)	大遮	前葉					△	小片	5.2				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-103	脚長い。無文。足裏楕円形？
5011	青	川原平 (1)	?	不明						細片	4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-104	写真無。「肩。精製」。文様
5012	青	川原平 (1)	大遮	～Ｃ１	△	△				細片	1.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-105	写真無。肩。磨消縄文。首下部無文
5013	青	川原平 (1)	大遮	～ C1 古				△	△	小片	5.7				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-106	部位境裁痕列
5014	青	川原平 (1)	大遮系統？	～ A1					△	小片	3.3				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-107	
5015	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明	細片	2.4				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-108	「腰」。無文
5016	青	川原平 (1)	大遮系統	C2 中～					△	小片	5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-109	足裏卵形？
5017	青	川原平 (1)	小遮	～ C1 古		△		○		小片	3.2						西捨	段丘	拠点	県教 17d86-110	部位境裁痕列。手Ｂ突起
5018	青	川原平 (1)	大遮？	前葉？		部	位	不	明	小片	4.8				中空？		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-111	写真無。下腹？　貫通孔？　刺突。精製
5019	青	川原平 (1)	大遮	～Ｃ１		部	位	不	明	小片	3.6				中空？		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-112	写真無。磨消縄文。「体部。精製」
5020	青	川原平 (1)	大遮系統	C2 前半				△	○	1/6	6				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-113	腰断続沈線
5021	青	川原平 (1)	土偶？	不明		部	位	不	明	細片	2.7				中空？		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-114	写真無。「体部」
5022	青	川原平 (1)	ｘ字形？	Ｃ２？		○	◎	○	△	2/5	3.5				小型板状	線	西捨	段丘	拠点	県教 17d86-115	正中線系列。正中刺突列、乳間平行線
5023	青	川原平 (1)	大遮系統？	A1 ？	?					小片	2.8		●				西捨	段丘	拠点	県教 17d86-116	図天地逆？頭頂突起？二又。表裏瘤突起
5024	青	川原平 (1)	結髪？	A1 ？		○	○		○	1/8	5						西捨	段丘	拠点	県教 17d86-117	乳房隆帯。首飾り状沈線。背中刺突
5025	青	川原平 (1)	?	不明		部	位	不	明	小片	5.6						西捨	段丘	拠点	県教 17d86-118	写真無。「体部」。磨消縄文
5026	青	川原平 (1)	?	不明		部	位	不	明	小片	3.8				輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-119	写真無。「体部、精製」
5027	青	川原平 (1)	大遮？？	Ｃ１？	○					1/9?	3.5				中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-120	摩滅。小遮？
5028	青	川原平 (1)	屈折像Ａ	瘤Ⅳ	○	◎	◎	◎	○	7/9	21.4	○				線	西捨	段丘	拠点	県教 17d87-121	弧状眉。正中Ｙ字隆帯。註 12
5029	青	川原平 (1)	後期以来	後後？	◎					1/7	6.3		漆	割口			西捨	段丘	拠点	県教 17d87-122	首黒付。顔小判形。後頭結髪。眉鼻Ｔ字
5030	青	川原平 (1)	後期以来	後後？					△	小片	4.3						西捨	段丘	拠点	県教 17d87-123	脚？　爪先刻目列。文様
5031	青	川原平 (1)	後期以来	後後？	○					1/8	4.5			割口	口管孔		西捨	段丘	拠点	県教 17d87-124	後頭黒付。顔楕円形。眉鼻Ｙ字。耳貫通孔
5032	青	川原平 (1)	小型無文	不明	○	◎	◎	◎	○	一欠	6.3				肛門管孔		西捨	段丘	拠点	県教 17d87-125	顔鼻のみ（鼻腔）
5033	青	川原平 (1)	後期以来	B1 ？		◎	◎	◎	◎	2/3	8		○	割口		◎	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-126	正中沈線、パ。背面入組文三叉文。註 13
5034	青	川原平 (1)	後期以来	後期？		○	◎	◎		3/5	6.5						西捨	段丘	拠点	県教 17d88-127	首～股に貫通孔。無文
5035	青	川原平 (1)	後期以来	後期？		○	○	◎	○	3/5	7.5					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-128	正中～腰逆Ｔ字隆帯上縄文
5036	青	川原平 (1)	後期以来	～ B1 ？	△	△		○		1/9	4						西捨	段丘	拠点	県教 17d88-129	首Ｖ字隆帯刻目列。肩三叉文？
5037	青	川原平 (1)	小遮	Ｃ１？	○	◎	○	○	◎	4/5	15.7	△			頭のみ中空	線	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-130	写真上半身のみ。正中刺突列。肛門管孔
5038	青	川原平 (1)	小遮	～ C1 古			△	△	○	1/5	6.2				「中空」？		西捨	段丘	拠点	県教 17d88-131	肩張単足系列。裁痕列
5039	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？	△	◎			○	3/10	2.5					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-132	正中沈線？　背中中央沈線文
5040	青	川原平 (1)	刺突文祖形？	A1 ？		○	○	△	○	1/2	8.5					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-133	正中沈線。肩瘤。背中隆帯上沈線
5041	青	川原平 (1)	後期以来	後期？			○	○		1/4	5.8		◎			●	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-134	正中沈線刺突、パンツ、▼短沈線、腹膨
5042	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？					△	小片	3						西捨	段丘	拠点	県教 17d89-135	足先突出
5043	青	川原平 (1)	後期以来	後期？					?	不明	5.5				「中空」？		西捨	段丘	拠点	県教 17d89-136	屈曲するクランク状。爪先刻目列。腕？
5044	青	川原平 (1)	後期以来	後期？			○	◎	○	不明	4.6					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-137	正中沈線
5045	青	川原平 (1)	後期以来	後期？					?	不明	4.7						西捨	段丘	拠点	県教 17d89-138	「左手」脚？　途中平行沈線
5046	青	川原平 (1)	後期以来	後期？		◎	○		○	1/4	3					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-139	正中、文様刺突列。背中入組文
5047	青	川原平 (1)	後期以来	後期？		○	○			不明	6.3					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-140	正中刺突列。正面剥落
5048	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？		○	○		○	不明	4.2					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-141	表刺突列（正中ほか）。裏沈線文
5049	青	川原平 (1)	結髪もどき？	A1 ？		○	○	◎	◎	4/5	12.5	△			「中空」？	◎	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-142	正中沈線パンツ内縄文。腰脇多重円
5050	青	川原平 (1)	刺突文祖形？	A1 ？					△	不明	6						西捨	段丘	拠点	県教 17d90-143	足裏楕円形。脚途中多重平行線
5051	青	川原平 (1)	後期以来	後期？			○	◎	◎	不明	2.4				肛門管孔	線	西捨	段丘	拠点	県教 17d90-144	正中刺突列。摩滅
5052	青	川原平 (1)	土偶？	不明					?	不明	1.4						西捨	段丘	拠点	県教 17d90-145	途中貫通孔。装飾品？
5053	青	川原平 (1)	後期以来	後期？		△			△	不明	6.6				焼成良好		西捨	段丘	拠点	県教 17d90-146	肩、十腰内Ⅱ式的帯縄文刺突列
5054	青	川原平 (1)	ｘ字×小遮	Ｃ２？	◎	◎	◎	◎	○	7/8	6.2					◎	西捨	段丘	拠点	県教 17d90-147	乳大正中刺突列。首Ｖ沈線
5055	青	川原平 (1)	小遮系統？	A1 ？？	○	△			○	不明	3.7						西捨	段丘	拠点	県教 17d90-148	「ｘ字形土偶」。抽象的陰刻
5056	青	川原平 (1)	小遮系統？	C2 古？	○	◎	◎	◎	○	9/10	8.6		漆				西捨	段丘	拠点	県教 17d90-149	「ｘ字形土偶」。浮彫的装飾。背中入組文
5057	青	川原平 (1)	小型無文	Ｃ２？	○	◎	◎	◎	○	9/10	5				小型板状		西捨	段丘	拠点	県教 17d90-150	頭Ｘ字形と共通Ｂ突起。摩滅
5058	青	川原平 (1)	ｘ字形	Ｃ２？	◎	◎	◎	◎	○	一欠	4.3				小型板状		西捨	段丘	拠点	県教 17d90-151	陰刻文系列。対向△。手足突起状でない
5059	青	川原平 (1)	小遮系統？	C2 古？	○	◎	◎	◎	△	8/9	9.5		漆				西捨	段丘	拠点	県教 17d90-152	「ｘ字形土偶」。浮彫的装飾。正面Ｘ意匠
5060	青	川原平 (1)	土偶？	不明					?	不明	5.6						西捨	段丘	拠点	県教 17d90-153	先端細い棒状。無文
5061	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？			◎	◎		1/2	7.4					線	西捨	段丘	拠点	県教 17d91-154	正中沈線刺突列。腰隆帯。背中文様
5062	青	川原平 (1)	?	不明	○					不明	4				「中空」？		西捨	段丘	拠点	県教 17d91-155	目口刺突。頬沈線文。頭頂盲孔３
5063	青	川原平 (1)	小型結髪	A1 ？		○	◎	○		不明	7				板状	線	西捨	段丘	拠点	県教 17d91-156	正中Ｙ線。背中ほか刺突列。摩滅
5064	青	川原平 (1)	小型無文？	不明			○	○		不明	4						西捨	段丘	拠点	県教 17d91-157	写真無
5065	青	川原平 (1)	後期以来？	後期？		△			○	不明	2.4						西捨	段丘	拠点	県教 17d91-158	
5066	青	川原平 (1)	岩偶形？	前葉？	○	◎	◎	◎	◎	○	一欠	14.8	★			◎	西捨	段丘	拠点	県教 17d91-159	乳大パンツ。脚太い。Ｓ字文他。註 14
5067	青	川原平 (1)	屈折像Ｂ	～ A1 ？	○	◎	◎	◎	◎	◎	一欠	4.2				線	西捨	段丘	拠点	県教 17d91-160	小型正座。正中Ｙ線。刺突。3449 類例
5068	青	川原平 (1)	屈折像Ｂ？	不明	○	◎	◎	◎	○	○	不明	3.3					西捨	段丘	拠点	県教 17d91-161	小型。脚前投げ出している？　無文？
5069	青	川原平 (1)	刺突文？	A1 ？？	○						小片	7.6		?			西捨	段丘	拠点	県教 17d92-162	★顔剥落面に漆？　頭頂帽子貫通孔
5070	青	川原平 (1)	土偶？	不明							不明	8.2					西捨	段丘	拠点	県教 17d92-163	刺突列？「晩期後葉」
5071	青	川原平 (1)	屈折像Ａ？	後期？	△	○	◎	○			不明	12				線	西捨	段丘	拠点	県教 17d92-164	正中隆帯刺突。背入組文。腕脚剥落

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部　位						残存率	現長	接	付着物		つくり	女	出土	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚		cm	合	赤	黒	（製作痕）	性	位置	立地	評価		
5072	青	川原平 (4)	大遮系統？	C2 古？	△						小片	4		○		中空			段丘	拠点	県教 16 → 148-1	眉弧。貼付遮光器眼。縄文。晩期初頭？
5073	青	川原平 (4)	結髪	A1 ？		○	○	△			1/4	13		○		中空	線		段丘	拠点	県教 16 → 187-1	摩滅剥落。正中沈線。脇腹対向弧線
5074	青	川原平 (4)	？	不明		部	位	不	明		小片	3.6				芯棒痕			段丘	拠点	県教 16 → 187-2	「脚」。刺突
5075	岩	中村	刺突文	A ´ 古？		△					小片	1.6				下と同一？			堤防	拠点	県埋 17 → c1	右肩。背中肩パットを繋ぐ刺痕列？縄文
5076	岩	中村	刺突文	A ´ 古？	△						小片	1.9				上と同一？			堤防	拠点	県埋 17 → c2	頭頂突起。刺痕列？間刺突多
5077	岩	中村	結髪？	A2 ～？	？						細片	2.6							堤防	拠点	県埋 17 → c3	「結髪部破片」。多重沈線。刻目列
5078	岩	千苅	結髪	A ´ 古？	○	○	○	○	△	△	3/5	13.8	△	○			◎		堤防	拠点	県埋 16 → d1	正中刺痕列パンツ内短沈線。背竹管刺突
5079	岩	千苅	結髪	A1 ？	◎						1/6	2.4							堤防	拠点	県埋 16 → d2	小型。結髪に透かし。目短沈線
5080	岩	千苅	結髪	A1 ～	○						1/9	4				中空			堤防	拠点	県埋 16 → d3	眉鼻独立。眉一状貼付。頭刺突
5081	岩	千苅	結髪	A1 ～	○						1/9	5.8				中空			堤防	拠点	県埋 16 → d4	顔剥落。二次被熱により一部黒色化
5082	岩	千苅	結髪	A1 ？	○						1/8	3.4							堤防	拠点	県埋 16 → d5	摩滅。耳貫通孔。頭刻目隆帯３列
5083	岩	千苅	結髪	A1 ？	△						小片	2.3							堤防	拠点	県埋 16 → d6	結髪破片。透かし彫り。端竹管状刺突
5084	岩	千苅	結髪	A2 ？	△	○	◎	○	○	△	3/5	15	○			胴中空	◎		堤防	拠点	県埋 16 → d7	正中沈線▼短沈線。調整丁寧。乳房文様
5085	岩	千苅	結髪	A2 ～？		△					小片	3.6				輪積中空			堤防	拠点	県埋 16 → d8	背中破片。沈線挟んで断続沈線
5086	岩	千苅	刺突文祖形？	～ A2 ？		△	△				不明	10				輪積中空			堤防	拠点	県埋 16 → d9	背中破片。上方刺突、下方縄文
5087	岩	千苅	結髪	A2 ～？		△	△				1/8	8				輪積中空			堤防	拠点	県埋 16 → d10	背中破片。粗雑沈線。背中疎大円形文列
5088	岩	千苅	結髪	A2 ～？			△	△			小片	4.3				中空	パ?		堤防	拠点	県埋 16 → d11	図天地逆？　臍貼付。パンツ？内刺突
5089	岩	千苅	結髪	A ´		△					小片	4.8				中空	線		堤防	拠点	県埋 16 → d12	正中沈線。乳円形貼付肩へ帯文様
5090	岩	千苅	結髪	A1				△		○	1/9	5.3	△			中空	パ		堤防	拠点	県埋 16 → d13	パンツ内刺突。爪先刻目列６。註 15
5091	岩	千苅	刺突文祖形？	～ A2 ？		△	△				小片	5.8				中空			堤防	拠点	県埋 16 → d14	右胸腹。乳房円形貼付小。縄文
5092	岩	千苅	結髪	A1			△	△			小片	4.5				中空	パ		堤防	拠点	県埋 16 → d15	パンツ内刺突。多重線
5093	岩	千苅	結髪	A1 ？				△			小片	2.5				中空	パ		堤防	拠点	県埋 16 → d16	パンツ内縄文。多重線
5094	岩	千苅	刺突文？	A ´ ～？						△	小片	2.5				中空			堤防	拠点	県埋 16 → d17	脚と足の境平行線
5095	岩	千苅	刺突文？？	A ´ ～？						△	小片	1.4							堤防	拠点	県埋 16 → d18	爪先短沈線の後ろ平行線
5096	岩	千苅	結髪	～A ´ 古？		◎	◎	◎	△	◎	7/10	7.4				肛門？孔	線		堤防	拠点	県埋 16 → d19	小型。正中刺痕列。背中貼付列と沈線
5097	岩	千苅	結髪	A2 ～？		△	○	○			3/10	5.3					線		堤防	拠点	県埋 16 → d20	正中沈線。摩滅。腹剥落
5098	岩	千苅	結髪	A1 ～	△	○	◎	◎	○	◎	不明	8.8					◎		堤防	拠点	県埋 16 → d21	小型。正中刺痕列▼文様。脇腹対向弧線
5099	岩	千苅	結髪	A1 ～			○	○			不明	4.3					◎		堤防	拠点	県埋 16 → d22	正中刺痕列、股間深い短沈線。腰刺突
5100	岩	千苅	結髪	A1 ～		△	△				小片	3.9							堤防	拠点	県埋 16 → d23	背中６字文。肩、脇腹刺突
5101	岩	千苅	刺突文	A ´ 古～	○						1/10	6				中空			堤防	拠点	県埋 16 → d24	全体摩滅。頭頂突起多重線。顎弧線区画
5102	岩	千苅	刺突文	末前後	○						不明	4.8		○					堤防	拠点	県埋 16 → d25	頭頂二又突起。耳貫通孔。頬平行線
5103	岩	千苅	刺突文	A ´ 新？		△					小片	5.2				中空？			堤防	拠点	県埋 16 → d26	A2 ？　左肩。背中のパット長い。正面縄文
5104	岩	千苅	刺突文	A ´ 古～		△					小片	1.8				中空			堤防	拠点	県埋 16 → d27	肩突起。刺突。縄文
5105	岩	千苅	刺突文	A ´ 古～		△					小片	3							堤防	拠点	県埋 16 → d28	右肩。腕割口ソケット状。背中三本沈線
5106	岩	千苅	刺突文？	末前後				△		△	不明	5.2	△			中空			堤防	拠点	県埋 16 → d29	脚下方まで刺突。腰沈線文
5107	岩	千苅	刺突文	末前後		◎	◎	△			不明	14.1				大形板状	線		堤防	拠点	県埋 16 → d30	正中沈線。背中菱形意匠文。「脚表現無」
5108	岩	千苅	結髪？	不明	△						不明	2.2							堤防	拠点	県埋 16 → d31	鼻貼付（鼻孔）。目凹線
5109	岩	千苅	刺突文？	末前後						○	不明	4.6							堤防	拠点	県埋 16 → d34	足と脚の間に沈線。
5110	岩	千苅	？	不明						？	不明	1.8			割口				堤防	拠点	県埋 16 → d35	脚黒付。脚多重水平線。小型刺突文土偶？
5111	岩	千苅	装身具？	不明	◎	◎	◎	◎	◎	○	9/10	2.9							堤防	拠点	県埋 16 → d36	ひとがた。無文。頭横貫通孔
5112	岩	千苅	結髪変形？	～谷起島		？			？		不明	4.3							堤防	拠点	県埋 16 → d54	乳刺突？　無文？
5113	岩	千苅	結髪	A1 ～	△						細片	1.8							堤防	拠点	県埋 16 → d55	結髪部分破片。「吸盤状突起」多
5114	岩	杉の堂	大遮？	～ C1 古		△					小片	3				輪積中空		坑覆	低段	拠点	県埋 20 → d1	肩。隆帯上刺突列。縄文
5115	岩	杉の堂	大遮	～ C1 古			？				細片	3.6		○		中空		坑覆	低段	拠点	県埋 20 → d2	部位不明。磨消縄文（方形文）
5116	岩	杉の堂	大遮	～ BC1?	△						小片	2.6				中空			低段	拠点	県埋 20 → d3	左目。目頭穿孔。眉縄文
5117	岩	杉の堂	？	前葉？		△					小片	6.4	△			中空			低段	拠点	県埋 20 → d4	乳房？　裏磨消縄文
5118	岩	杉の堂	？	不明					？		小片	3.8				中空			低段	拠点	県埋 20 → d5	「腕」。沈線
5119	岩	杉の堂	？	不明		部	位	不	明		小片	1.8				「中空」？			低段	拠点	県埋 20 → d6	「腰」。無文
5120	岩	杉の堂	結髪	A1		○	△				小片	4				中空			低段	拠点	県埋 20 → d7	左胸。乳房隆帯刻目列。背中貼付列
5121	岩	杉の堂	大遮系統	A1		△	△				小片	4.6		○		中空			低段	拠点	県埋 20 → d8	肩。多重沈線
5122	岩	杉の堂	？	不明	？						小片	4.2							低段	拠点	県埋 20 → d9	「結髪の裏側？」
5123	岩	杉の堂	結髪	A1 ？		◎	◎	○			1/4	8.2				★体内管孔	線		低段	拠点	県埋 20 → d10	台式？　正中沈線。乳房隆帯。表裏沈線文
5124	岩	杉の堂	小遮	～ C1 古			△				小片	5							低段	拠点	県埋 20 → d11	腹。脇腹渦巻文
5125	岩	杉の堂	結髪？	A1 ？				△			小片	3.5		○		中空			低段	拠点	県埋 20 → d12	腰。縄文地多重線
5126	岩	杉の堂	大遮	BC2 ？			△	△			小片	6		○		中空			低段	拠点	県埋 20 → d13	★磨消縄文脇腹ミガキで無？　腹裁痕列
5127	岩	杉の堂	？	不明		部	位	不	明		細片	3.8				中空			低段	拠点	県埋 20 → d14	「右腰」。注口部？？
5128	岩	杉の堂	？	不明		部	位	不	明		細片	2.9				中空			低段	拠点	県埋 20 → d15	「胴」。刺突多。晩期後葉～末土偶？
5129	岩	杉の堂	刺突文	末？		？					細片	2.8				中空			低段	拠点	県埋 20 → d16	胸？　細かい刺突→太い沈線
5130	岩	杉の堂	結髪	A1		△			△		小片	2.5				中空			低段	拠点	県埋 20 → d17	左肩。正面隆帯。背中竹管状刺突列
5131	岩	杉の堂	結髪？？	A1 ？？		△					小片	4.8							低段	拠点	県埋 20 → d19	右肩？　背中平行線
5132	岩	杉の堂	？	不明		部	位	不	明		細片	3.2		？		中空			低段	拠点	県埋 20 → d20	沈線。結髪土偶胴部？？
5133	岩	杉の堂	大遮系統？	A1 ？						△	1/9	3.9				中空			低段	拠点	県埋 20 → d21	腰？工字文？　足裏円形？　結髪土偶？
5134	岩	杉の堂	結髪	～末				△			細片	0.8				中空			低段	拠点	県埋 20 → d22	股。刺突多
5135	岩	杉の堂	大遮	C1 古？						△	小片	1.7				中空			低段	拠点	県埋 20 → d23	足の境裁痕列
5136	岩	杉の堂	小遮？	～ C1 古？						△	小片	2.8				中空			低段	拠点	県埋 20 → d24	蔓状文
5137	岩	杉の堂	小遮？	不明					？	？	細片	2.2				中空			低段	拠点	県埋 20 → d25	「腕」。沈線
5138	宮	北小松	？	A1 ？？	？	△					小片	4.5					線		沖積	拠？	県教 21 → 36-20	正中刺痕列？　乳上部ボタン貼付。縄文
5139	宮	北小松	大遮系統	A1	△	△					小片	5				★中実		柱埋	沖積	拠？	県教 21 → 75-7	多重沈線。肩刺痕列
5140	宮	北小松	後期以来	後期？	○	△					2/9	5.5							沖積	拠？	県教 21 → 162-7	V ネック隆帯上刺突列。眉剥落。耳貫通孔
5141	宮	北小松	？	後葉？	○						不明	4.4							沖積	拠？	県教 21 → 162-8	目上鼻貼付。顎後頭刺突列
5142	宮	北小松	後期以来？	後期？		△					不明	3.4							沖積	拠？	県教 21 → 162-9	「左肩」。微隆帯上に刺突列
5143	宮	北小松	？	不明	◎	◎	◎	◎	△		不明	5.7							沖積	拠？	県教 21 → 163-7	眉、首下 V 字隆帯刻目列。側頭突起列
5144	宮	北小松	x 字形	C ２？		△	◎	○			4/7	7.1		○	割口	小型板状	◎		沖積	拠？	県教 21 → 163-8	帯状文系列。脚黒付。正中刺痕列▼突起
5145	宮	北小松	後期以来	後期？						△	小片	3.6							沖積	拠？	県教 21 → 163-9	足片側突出
5146	宮	北小松	？	不明						？	小片	3.3				「中空」			沖積	拠？	県教 21 → 163-10	「土偶右足か」。足首に沈線
5147	宮	北小松	大遮系統？	C2 後～						△	小片	2.5				中空			沖積	拠？	県教 21 → 164-10	「右脚」。足首沈線
5148	宮	北小松	後期以来？	後期？					？		小片	2.9							沖積	拠？	県教 21 → 166-11	「脚」。手？反る
5149	宮	北小松	類結髪？	A2 ？				△		△	小片	4.8							沖積	拠？	県教 21 → 167-18	腰に「π字文？」。類例 2100
5150	宮	北小松	後期以来	後期？		△			○		小片	4.7							沖積	拠？	県教 21 → 167-19	手首沈線。肩沈線文
5151	宮	北小松	？	～ A1 ？	○	○	◎	◎	◎	◎	9/10	4.3				小型	◎		沖積	拠？	県教 21 → 170-31	ヒトデ形。正中刺痕列？▼刺突？　口表現
5152	宮	北小松	結髪変形	A1 ～	○	◎	◎	△	△		不明	6.9					線		沖積	拠？	県教 21 → 171- 1	台式？　正中６字変形。背中６字文
5153	宮	北小松	？	不明		△			○		不明	2.5							沖積	拠？	県教 21 → 171- 2	左肩。手円錐？　肩に弧状平行線

No.	県	遺跡名	形　態	時　期	部　位						残存率	現長	接	付着物		つくり	女	出土	遺　跡		掲載箇所	備　　考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚		cm	合	赤	黒	（製作痕）	性	位置	立地	評価		
5154	宮	北小松	結髪変？	A2 ？	△						小片	3							沖積	拠？	県教 21 → 171-24	抽象的。後頭π字文。眉目刻目隆帯
5155	宮	北小松	結髪？	A1 ～？	△						細片	2.2							沖積	拠？	県教 21 → 171-25	口破片。口刻目隆帯
5156	宮	北小松	大遮系統	A1 ？	△						小片	4							沖積	拠？	県教 21 → 172-1	頭頂突起。頂二又。刻目隆帯
5157	宮	北小松	？	A1 ～？		△	△		△		不明	7.2				厚い板状			沖積	拠？	県教 21 → 172-2	x 字形の大型版？　縄文地太深沈線
5158	宮	北小松	結髪変形	A1 ～？		○	○		◎		不明	5		○			線		沖積	拠？	県教 21 → 172-3	正中沈線。首飾り、背中刺痕列
5159	宮	北小松	大遮系統	A1 ？				△			小片	2.4		○		中空			沖積	拠？	県教 21 → 172-4	「肩」。腰上円形文。工字文？
5160	宮	北小松	？	不明					△		小片	1.6							沖積	拠？	県教 21 → 174-42	
5161	宮	北小松	大遮系統？	A1 ？	○						小片	2.4							沖積	拠？	県教 21 → 175-1	抽象的。刻目列多用
5162	宮	北小松	大遮系統？	A1 ？					○		小片	3.2							沖積	拠？	県教 21 → 175-10	腕多重線。手円形突起
5163	宮	北小松	類結髪？	A1 ～？				○		◎	不明	3		○					沖積	拠？	県教 21 → 175-11	下半身平行線間刺突列。短足
5164	宮	北小松	〃？	〃？			○	○		○	不明	3.1							沖積	拠？	県教 21 → 175-12	胴沈線多。脚刺突多
5165	宮	北小松	「土偶か」	不明		部	位	不	明		小片	2.5				輪積中空			沖積	拠？	県教 21 → 175-14	隆帯上刻目列、大遮系統に似る
5166	宮	北小松	？	不明						？	不明	4.5		○					沖積	拠？	県教 21 → 176-8	「脚」。前傾方向足突出？、反対側平行線
5167	宮	北小松	類結髪？	A1 ～？		△	△				不明	9.9		○		厚「中空」？			沖積	拠？	県教 21 → 243-1	下と同一個体。背中竹管状刺突列
5168	宮	北小松	〃	〃		△	○	○			不明	11.4				厚「中空」？	パ		沖積	拠？	県教 21 → 243-2	上と同一個体。パンツ縄文。背面文様多
5169	宮	北小松	大遮系統	C2 Ｖ？				△			小片	2.2				中空			沖積	拠？	県教 21 → 244-2	「肩」腰？　磨消縄文
5170	宮	北小松	後期以来？	後期？			△				小片	3.8				中空	線		沖積	拠？	県教 21 → 244-3	正中刻目隆帯。腹？貫通孔
5171	宮	北小松	後期以来？	後期？			△	△			小片	4.4				中空			沖積	拠？	県教 21 → 244-4	腰刻目隆帯。背中に入組文？
5172	宮	北小松	土偶？	不明						？	不明	4							沖積	拠？	県教 21 → 244-5	「左脚」。途中貼付剥落

金子昭彦　2010d「縄文晩期・東北北部の土製耳飾（続）」『縄文時代』第21号　縄文時代文化研究会

金子昭彦　2011a「東北地方・縄文晩期の土偶(2)」『紀要』ＸＸＸ　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

金子昭彦　2011b「北日本・縄文晩期の三角玉ほかの装飾品」『岩手考古学』第 22 号　岩手考古学会

金子昭彦　2011c「北日本・縄文晩期の花弁丸玉、平玉」『縄文時代』第 22 号　縄文時代文化研究会

金子昭彦　2012「東北地方・縄文晩期の土偶(3)」『紀要』ＸＸＸＩ　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

金子昭彦　2014「東北地方・縄文晩期の土偶(4)」『紀要』第 33 号　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

金子昭彦　2015a「東北地方・縄文晩期の土偶(5)」『紀要』第 34 号　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

金子昭彦　2015b「大洞Ｃ２式期・大型遮光器系列土偶の編年」『古代』第 137 号　早稲田大学考古学会

金子昭彦　2015c「縄文土偶の終わり」『考古学研究』第 62 巻第２号　考古学研究会

金子昭彦　2016a「東北地方・縄文晩期の土偶(6)」『紀要』第 35 号　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

金子昭彦　2016b「瘤付土器に伴う土偶の系列」『青森県考古学』第 24 号　青森県考古学会

金子昭彦　2016c「津軽海峡圏の装身具の変遷」『一般社団法人日本考古学協会 2016 年度弘前大会第Ｉ分科会　「津軽海峡圏の縄文文化」研究報告資料集』

金子昭彦　2017「多出遺跡から土偶の用途を考える」『山本暉久先生古稀記念論集　二十一世紀考古学の現在』六一書房

金子昭彦　2018「縄文土偶の二つの使い方」『青森県考古学』第 26 号　青森県考古学会

金子昭彦　2020「亀ヶ岡式的な土偶の広がり」『ＤＯＧＵ』第３号　土偶研究会（青森県成田滋彦氏）

金子昭彦　2021「亀ヶ岡式土偶に関する諸問題」『ＤＯＧＵ』第４号　土偶研究会（青森県成田滋彦氏）

五所川原市教育委員会　2006『五月女萢遺跡』五所川原市埋蔵文化財調査報告書第 27 集

　2017『五月女萢遺跡』五所川原市埋蔵文化財調査報告書第 34 集

　2021『五月女萢遺跡・十三湊遺跡』五所川原市埋蔵文化財調査報告書第 35 集

小林圭一 2008「瘤付土器」『総覧縄文土器』アム・プロモーション

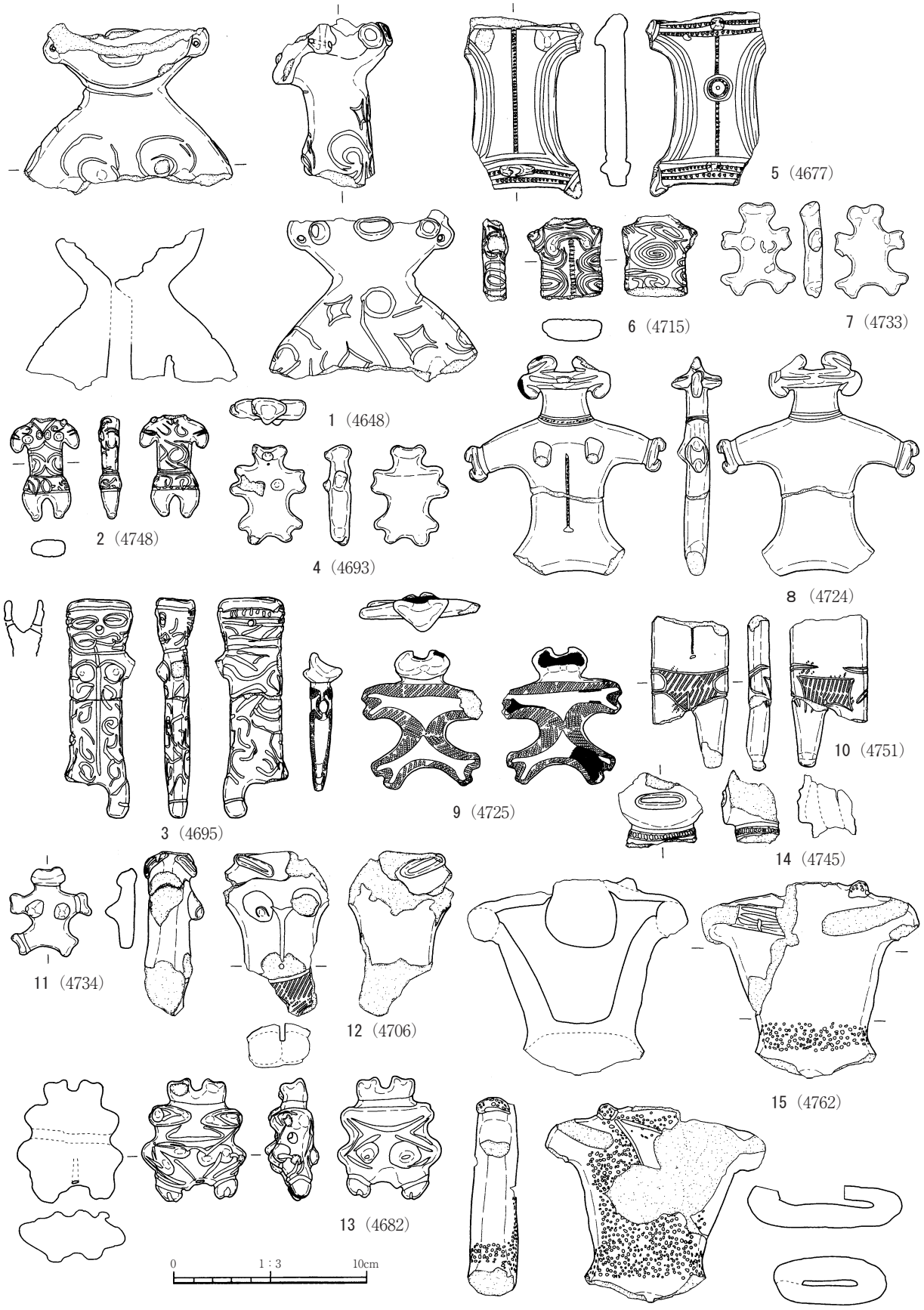
佐藤祐輔　2015「Ⅳ．７　東北」『弥生土器』考古調査ハンドブック 12　ニューサイエンス社

「土偶とその情報」研究会　1996『土偶シンポジウム５宮城大会　東北・北海道の土偶Ⅱ』

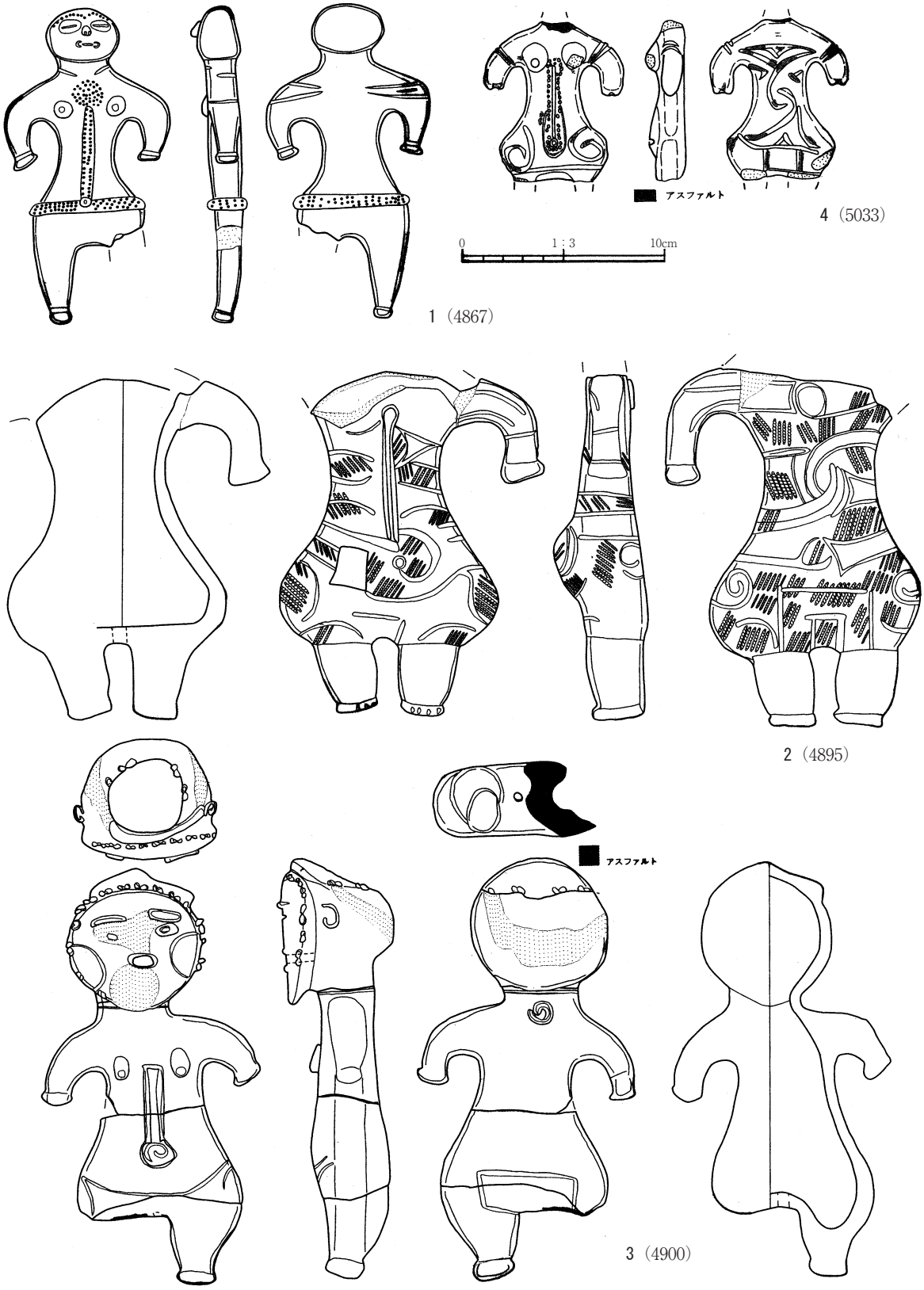
中門亮太　2013「東北地方北部における瘤付土器の基礎的研究」『古代』第 131 号　早稲田大学考古学会

宮城県教育委員会　1986『田柄貝塚Ⅱ』宮城県文化財調査報告第 111 集

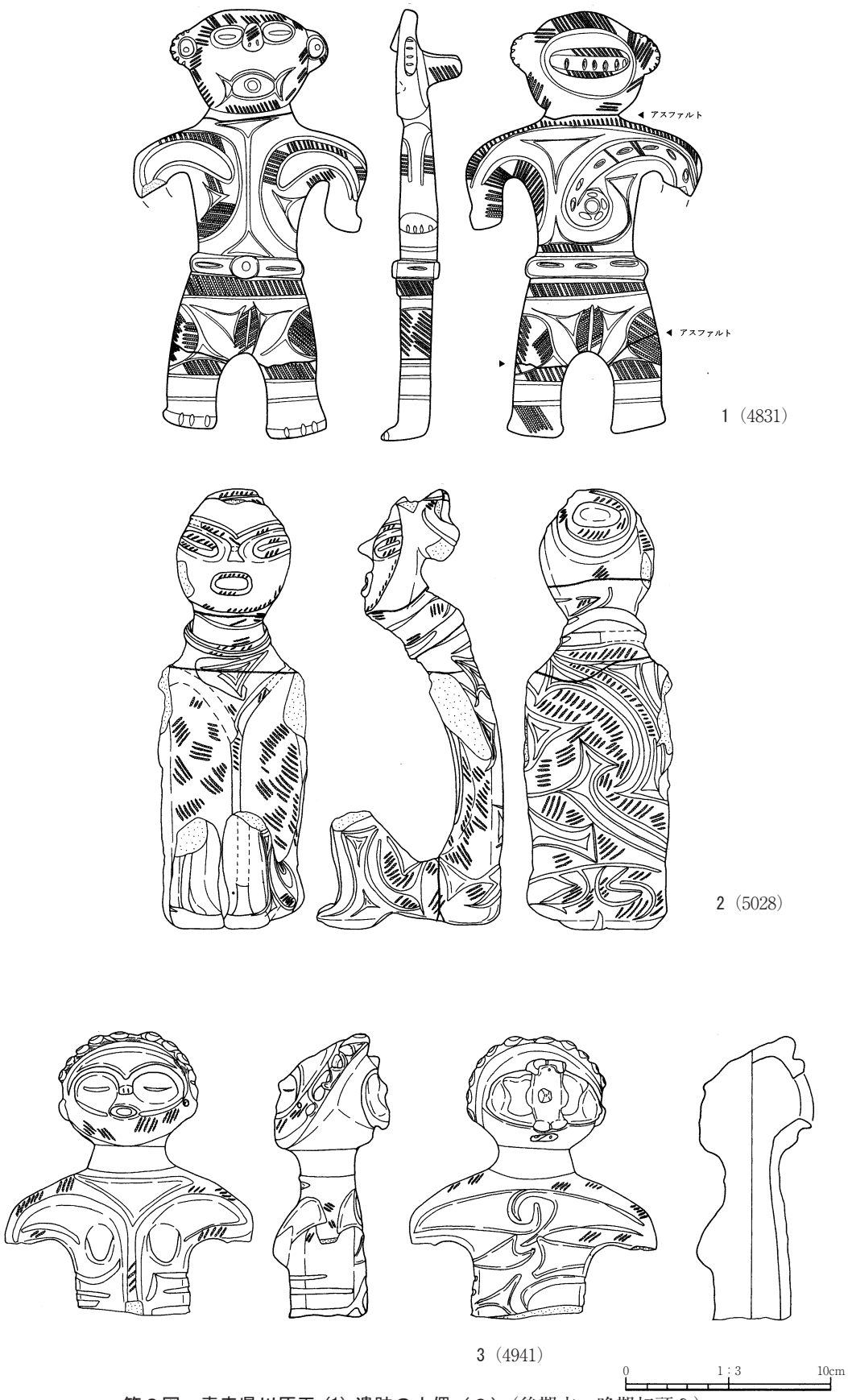
　2021『北小松遺跡』宮城県文化財調査報告第 254 集



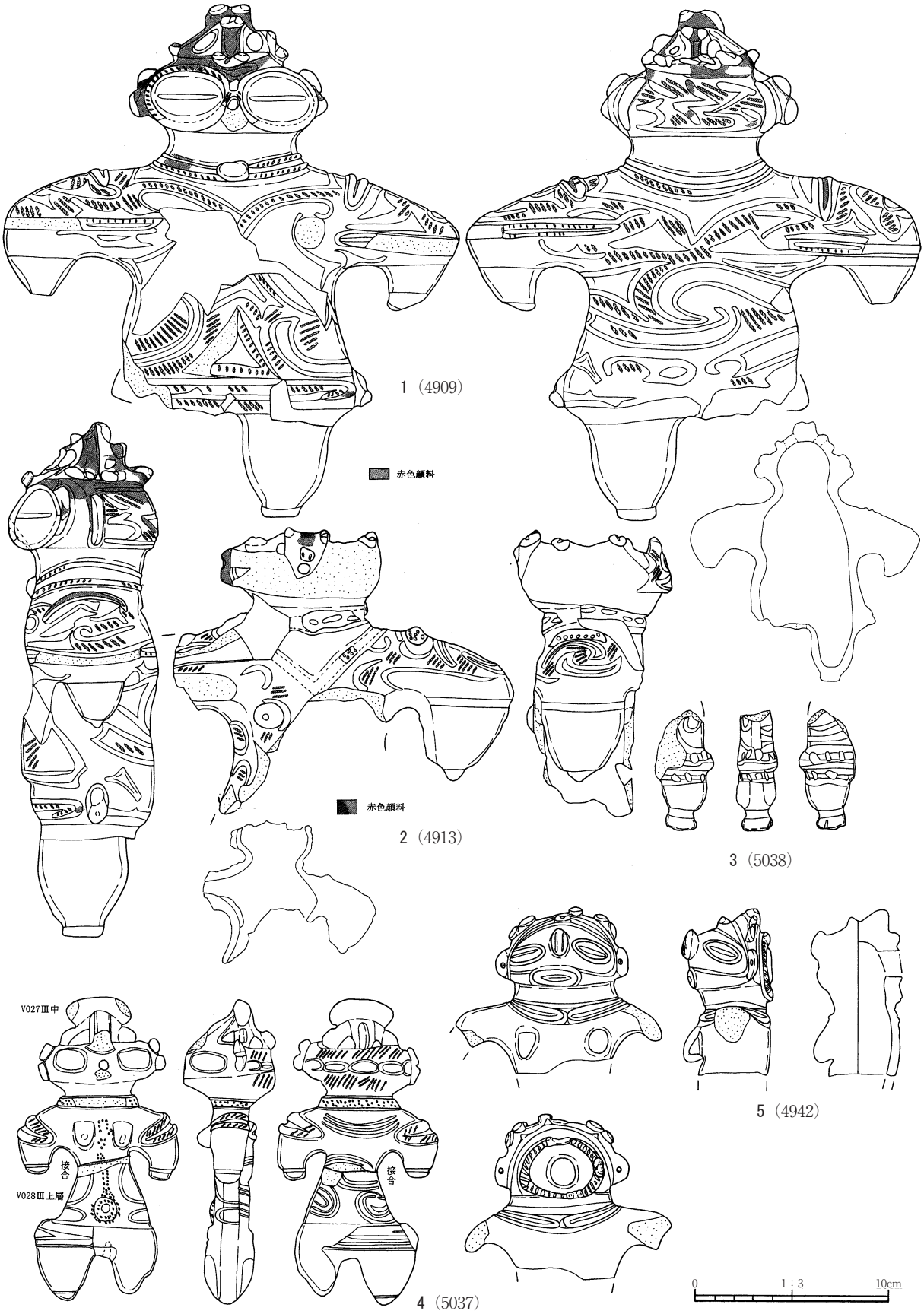
第１図　青森県五月女萢遺跡の土偶
（括弧内は表の番号）



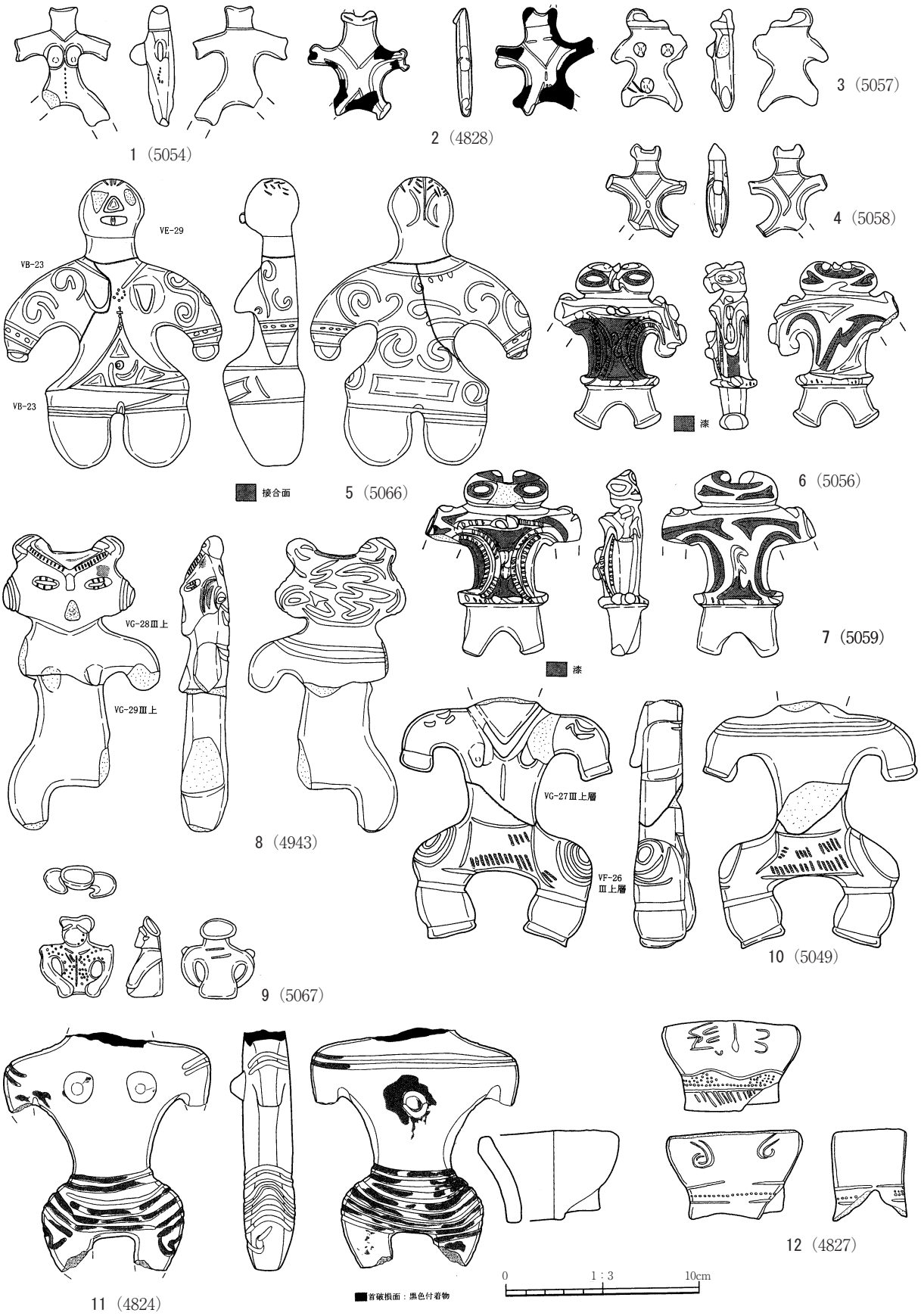
第２図　青森県川原平（1）遺跡の土偶（１）（後期末？）
（括弧内は表の番号）



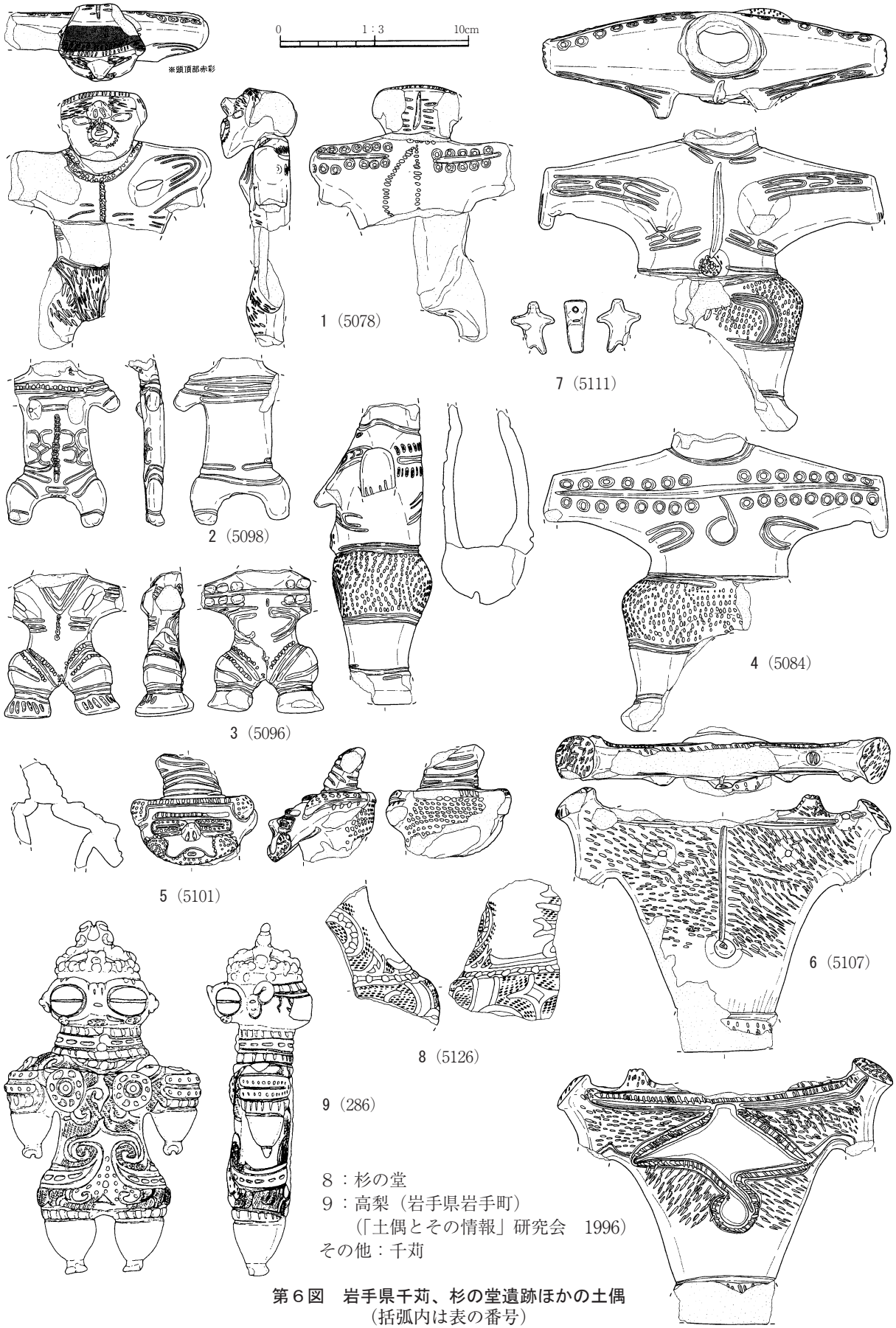
第３図　青森県川原平（1）遺跡の土偶（２）（後期末～晩期初頭？）
（括弧内は表の番号）



第４図　青森県川原平（1）遺跡の土偶（３）（遮光器系列）
（括弧内は表の番号）



第５図　青森県川原平（1）遺跡の土偶（４）（晩期中～後葉）
（括弧内は表の番号）



8：杉の堂
9：高梨（岩手県岩手町）
（「土偶とその情報」研究会　1996）
その他：千苅

第６図　岩手県千苅、杉の堂遺跡ほかの土偶
（括弧内は表の番号）